

簡易マニュアル

Actys II
XT300



Regalis II
UT700Pro
UT700Std



AGREA
LT900



Actys II
XT300

Regalis II
UT700Pro
UT700Std

Actys II

電話機ラインナップ4
 仕 様5
 システム構成図6
 構成品一覧7

Regalis II

仕 様9
 システム構成図10

Actys II ・ Regalis II

オプションユニット構成一覧12
 電話機接続可否一覧13
 各部の名称と働き14
 各種音量の調節18
 外線ボタンに各種機能ボタンを割り付ける23
 コントラスト調節25
 カレンダー・時計の設定26
 バックライトの設定28
 電話帳29
 内線転送35
 留守番39
 外線転送54



■漢字表示対応バックライト付き多機能電話機 [LD600電話機] (ホワイト/ブラック)



■漢字表示対応多機能電話機 [TD610電話機] (ホワイト/ブラック)



■漢字表示対応多機能電話機 [TD620電話機] (ホワイト/ブラック)

■ISDN対応多機能電話機 [IPF500電話機] (ホワイト)



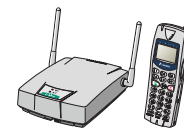
■漢字表示対応バックライト付き多機能電話機 [SS610/SS620電話機] (ホワイト)



■Bluetoothカールコードレス多機能電話機 [CL620電話機] (ホワイト)



■Bluetoothコードレスホン [WS600電話機] (ホワイト/ブラック)



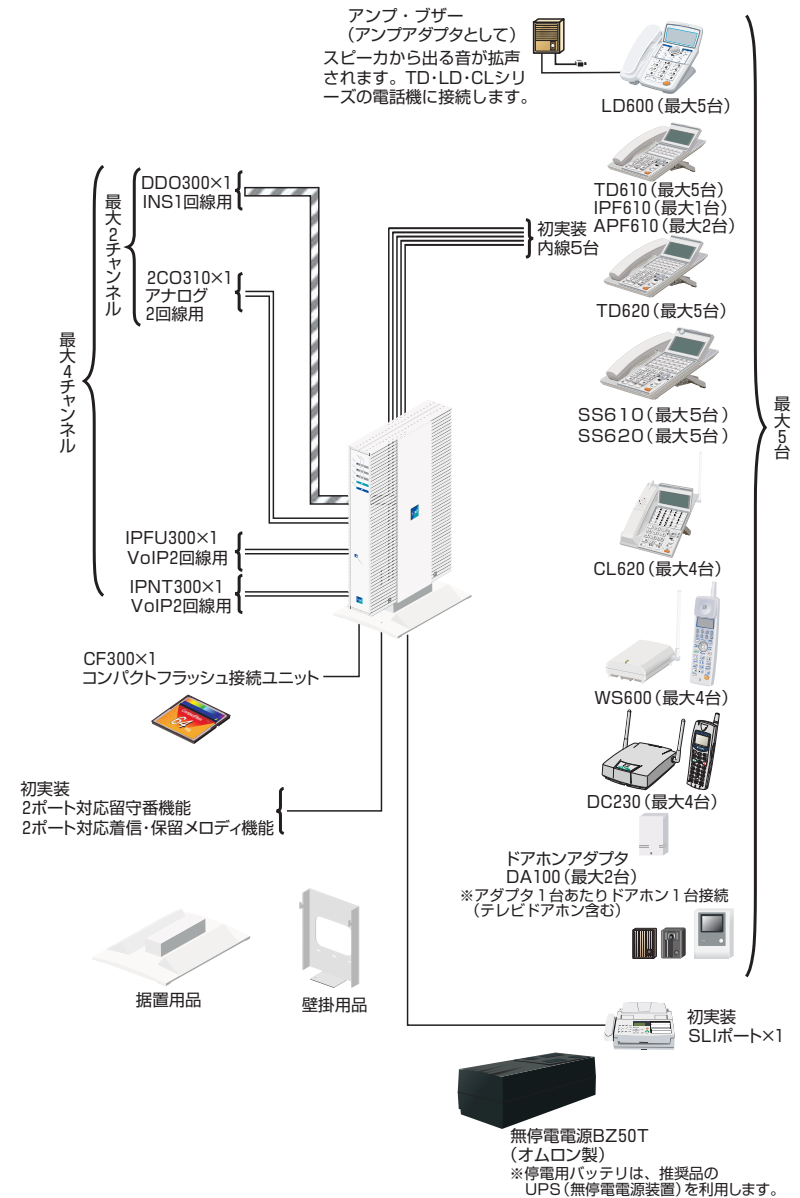
■デジタルコードレスホン [DC230電話機] (シルバー)

仕様

外線収容数	IP電話回線	最大2ch ※1	いずれかを 選択	
	ISDN回線	最大1回線 (2B×1)		
	アナログ回線	最大2回線		
接続数	TD620電話機 / SS620	最大5台	合わせて 最大5台	
	TD610電話機 / SS620	最大5台		
	LD600電話機	最大5台		
	APF610 / IPF610電話機	最大2台 / 1台		
	CL620電話機	最大4台		
	WS600電話機	最大4台		
	DC230電話機	最大4台		
	単独電話機 / FAX接続	最大1台		
	ドアホン接続	最大2台		
配線方式	2芯スター配線 (無極性)			
主装置消費電力	待機時約30W以下、最大時約40W以下			
使用電源	AC100V±10V 50 / 60Hz			
サイズ (mm) 幅×奥行×高さ 質量	主装置	約210×47×297、約1.4kg		
	TD620電話機	約180×236×83、約920g		
	TD610電話機	約180×236×83、約900g		
	LD600電話機	約184×239×90、約900g		
	APF610 / IPF610電話機	約180×236×83、約1,000g		
	CL610電話機	子機	約51×38×185 (アンテナ除く)、約180g	
		親機+子機	約180×236×88 (アンテナ除く)、約910g	
	WS510電話機	子機	約51×38×185 (アンテナ除く)、約180g	
		親機	約104×42×174、約140g	
	DC230電話機	子機	約40×19×123 (アンテナ除く)、約74g	
		接続装置	約126×43×154 (アンテナ除く)、約308g	

※1: IPFU300 / IPNT300の場合は最大2chでルータ内蔵となります。

システム構成図



構成品一覧

■主装置・電話機

品名	備考
XT300主装置	初実装(内線×5、SLI×1、REC×2、メモディ×2)
LD600電話機	(W) バックライト付き漢字表示チルトディスプレイ
	(K) 10ボタン電話機(10外線対応)
TD610電話機	(W) 漢字表示チルトディスプレイ18ボタン
	(K) 電話機(18外線対応)
TD620電話機	(W) 漢字表示チルトディスプレイ30ボタン
	(K) 電話機(30外線対応)
APF/PF電話機	(W) アナログ回線/ISDN用電話機 漢字表示チルトディスプレイ18ボタン電話機
CL620電話機	(W) Bluetoothカールコードレス電話機 (8ボタンバックライト付き漢字表示子機、 漢字表示チルトディスプレイ30ボタン親機、 電池パックのセット、最大4台)
WS600電話機	(W) Bluetoothカールコードレス電話機 (8ボタン/子機、親機、充電器、 電池パックのセット、最大4台)
	(K) 漢字表示デジタルコードレス電話機 (6ボタン/子機、接続装置、充電器、 電池パックのセット、最大4台)

■主ユニット・周辺パーツ

品名	備考
アナログ(2)局線ユニット 2C0310	アナログ2回線増設(最大1枚)
デジタル(1)局線ユニット DD0300	デジタル1回線増設、DSU内線、S/T点 付き(最大1枚)
ドアホンアダプター DA100	DA100へのドアホン接続台数は1台のみ DA100はActysに最大2個接続可能
VoIPユニット IPFU300	FUSION IP-Phone対応ルータ内蔵IP 電話ユニット IP電話2ch対応
VoIPユニット IPNT300	OCN. Phone Office対応ルータ内蔵 IP電話ユニット IP電話2ch対応
CFインタフェースユニット CF300	コンパクトフラッシュ実装時に必要
Astral用コンパクトフラッシュ (TS64MFLASHCPSAXA トランセンド製)	主装置パックアップ用(64MB)
主装置壁掛用品 WU300	Actys専用 壁掛け用
主装置据置用品 SU300	Actys専用 据え置き用

構成品一覧

■その他機器

品名	備考
端子箱 MJ-8SR-MG	8極ローゼット
ラインコード(W)	8極4芯用ラインコード(白)
ドアホン DR71	標準タイプドアホン
カラーテレビドアホン DR63C	カラーテレビドアホン
カラーモニタユニット TM-23	カラーモニタ付露出タイプ
TD510防塵カバー	TD510、TD520用カバー、1組3枚入り
LD500防塵カバー	LD500用カバー、1組3枚入り
キャリングケース(CC10)	WS250電話機持ち運び用ケース
キャリングケース(CC510)	WS510電話機持ち運び用ケース
電池パック BP366N-A	WS電話機用電池パック
リチウムイオン電池	DC電話機用電池パック
電池パック BP3711L-A	CL500/510、WS510子機用電池パック
アンプ・ブザー AMP-BZ-01	外線着信音拡大用
壁掛用品 WU-08	柱等への壁掛がタつき防止用
端子箱 MJ-4S (M)	1個用ローゼット
充電器セット BC510	(W) WS510電話機用の充電器セット
	(K) ACアダプター(TK920L)、充電器(BC510)
充電器セット BC200	(W) WS240電話機用の充電器セット
	(K) ACアダプター(TK920L)、充電器(BC12)
TD510プリンタ用シート	TD510用オートダイヤル着せ替えシート 1組10枚入り
TD520プリンタ用シート	TD520用オートダイヤル着せ替えシート 1組10枚入り
無停電電源 BZ50T	オムロン製無停電電源装置
壁掛用品 BUP08	BZ50T用壁掛け取付金具
電池バッテリー BP50T	BZ50T用交換バッテリー

仕様

■システム

項目	構成	UT700Std	UT700Pro
総回線ch数		12ch	28ch
最大回線 収容数	アナログ回線	4回線	12回線
	INSネット64回線	2回線(4ch)	6回線(12ch)
	VoIP回線	8ch	16ch
総内線数		8台	50台
最大内線 収容数	SS610電話機	8台	32台
	SS620電話機	8台	32台
	TD610電話機	8台	32台
	TD620電話機	8台	32台
	LD500電話機	8台	32台
	IPF610電話機	2台	6台
	APF610電話機	4台	12台
	CL620電話機	4台	8台
	WS600電話機	7台	8台
	DC230電話機	7台	8台
	PS601電話機	—	16台
	単独電話機	2台	22台
ドアホン最大接続数		3台	
外部スピーカー最大接続数		2系統	

- ※1: PS601電話機接続時は、多機能電話機は最大24台となります。
- ※2: PS601電話機とDC230電話機は混合収容できません。
- ※3: 電話機接続数が最大の場合は、以下の構成になります。(UT700Pro)
 多機能電話機: 24台
 PS601電話機: 16台
 単独電話機: 10台(初実装2台+8台)

■サイズ・質量

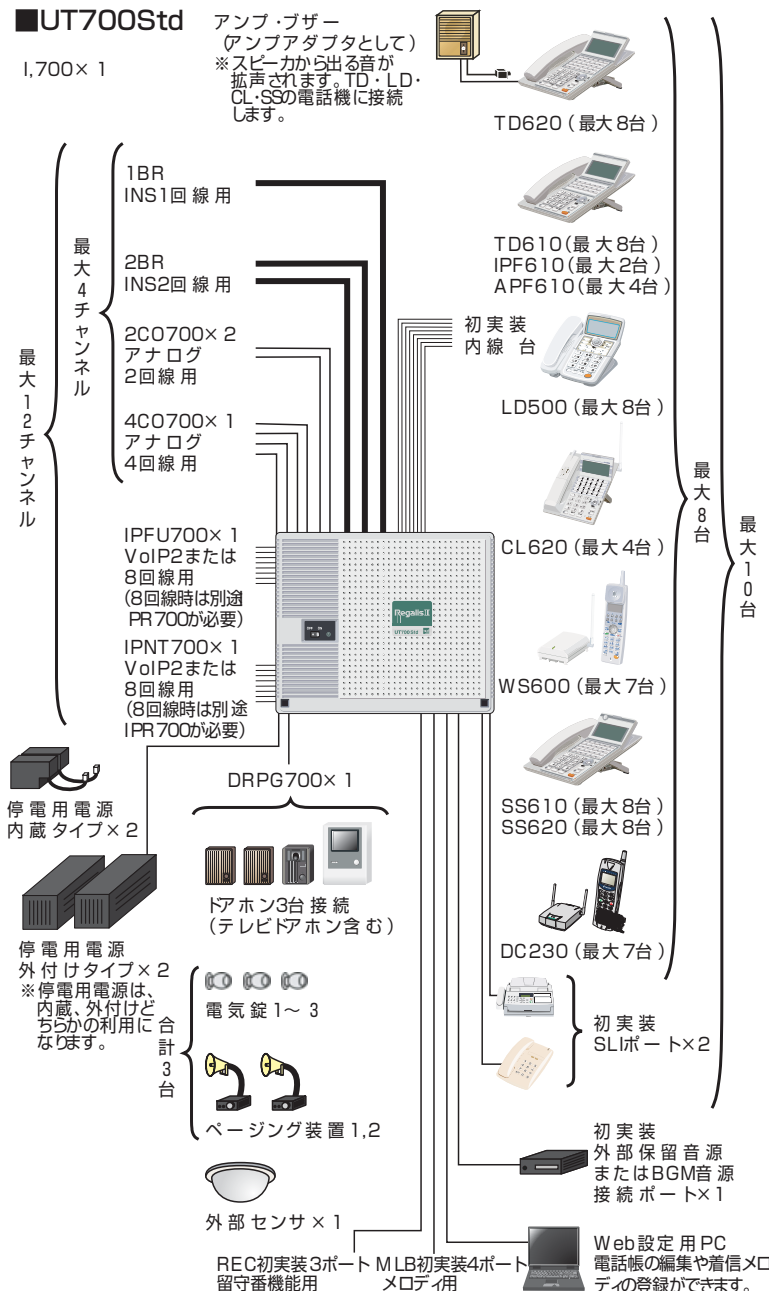
サイズ(mm)	主装置	約385×141×320, 約3.4kg	約540×141×320, 約4.7kg
幅 × 奥行 × 高さ	SS610電話機	約180×241×83, 約970g	
	SS620電話機	約180×241×83, 約1,000g	
	TD610電話機	約180×236×83, 約900g	
	TD620電話機	約180×236×83, 約920g	
	LD500電話機	約184×239×90, 約900g	
質量	APF/IPF610電話機	約180×236×83, 約1,000g	
	APF/IPF610電話機	約180×236×83, 約1,000g	

システム構成図

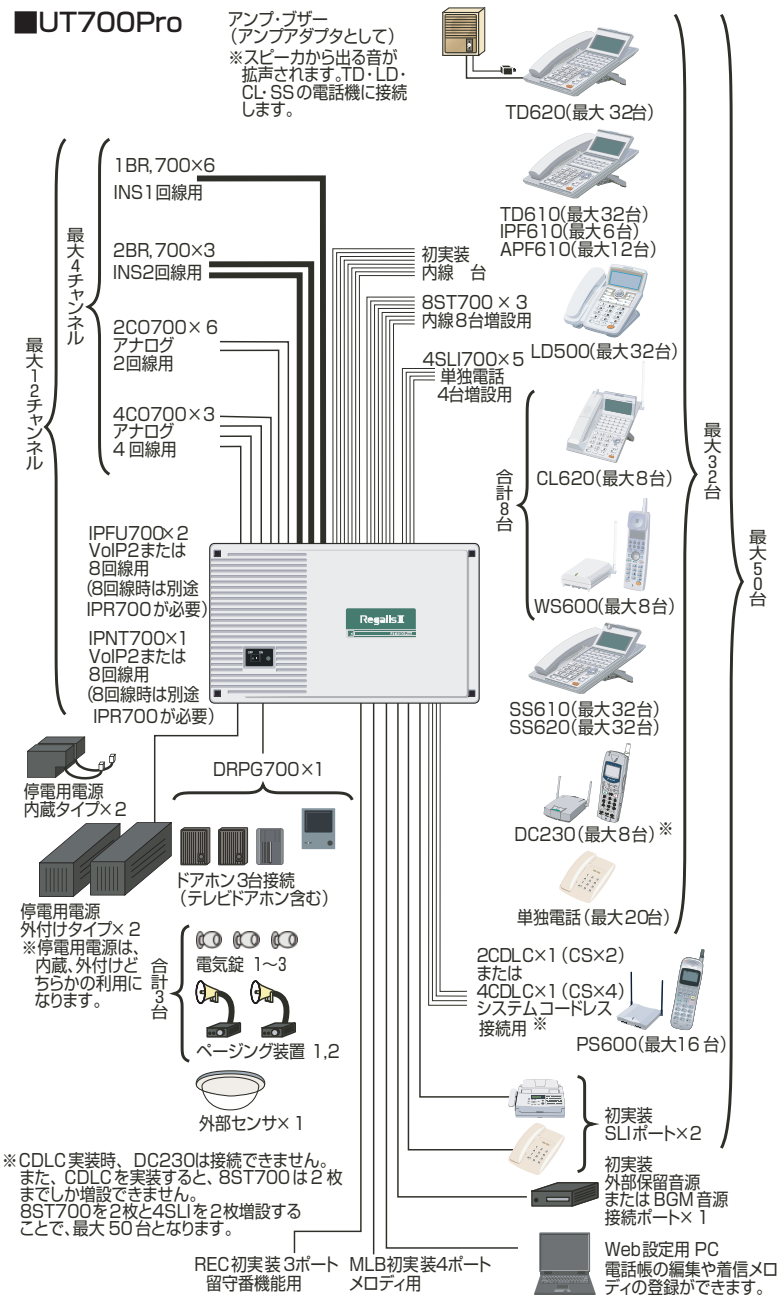
■UT700Std

1,700×1

アンプ・プザー
(アンプアダプタとして)
※スピーカから出る音が
拡声されます。TD・LD・
CL・SSの電話機に接続
します。



システム構成図



オプションユニット構成一覧

ユニット名称	機能概要	最大実装枚数		最大チャンネル数	
		UT700Std	UT700Pro	UT700Std	UT700Pro
8ST700	内線電話機を8台増設するユニット	実装不可	3	-	24
4SLI700	単独電話機を4台増設するユニット		5		20
IPR700	インターネット接続用のルータユニット	1	1	-	
1BR1700	デジタル回線を1回線接続するユニット	2	6	4	12
2BR1700	デジタル回線を2回線接続するユニット	1	3		
2CO700	アナログ回線を2回線接続するユニット	2	6		
4CO700	アナログ回線を4回線接続するユニット	1	3		
IPFU700	VoIPをルータ内蔵2chかルータなし8chで利用できるユニット (Fusion IP-Phone)	2ch	1	2	2
		8ch	2		8
IPNT700	VoIPをルータ内蔵2chかルータなし8chで利用できるユニット (OCN.Phone Office)	2ch	1	2	2
		8ch			8
2CDLC700	デジタルシステムコードレスCSを2台接続するユニット	実装不可	1	-	
4CDLC700	デジタルシステムコードレスCSを4台接続するユニット				
DRPG700	ドアホンやページング装置、外部センサを接続するユニット	1	1	-	

- *1: 各オプションユニットは、それぞれ最大実装枚数以内でも、最大チャンネルに達すると、それ以降のユニットは認識しませんので注意が必要です。
*2: IPR700およびIPFU700 (2ch)、IPNT700 (2ch) は同時に両方を実装することはできません。
*3: 2CDLC700および4CDLC700実装時は、8ST700は最大2枚までの実装 (多機能電話機の接続台数は最大24台) となります。

電話機接続可否一覧

電話機名称	ActysII	Astral	AstralII	Regalis/II
TD510電話機			○※1	
TD520電話機			○※1	
PF500電話機			○※1	
LD500電話機	○	○V2~		○
SS510電話機	○	×		○※1
SS520電話機	○	×		○※1
TD610電話機	○	△※1		○
TD620電話機	○	△※1		○
IPF610電話機	○	△※1		○
APF610電話機	○	△※1		○
SS610電話機	○	×	△※1	○
SS620電話機	○	×	△※1	○
DC230電話機			○	
CL500電話機	△※2	○V4~		△※2
CL510電話機	○	×		○
CL620電話機	○	×	△※1	○
WS510電話機	○	×		○
WS600電話機	○	×		○
WS240電話機			○	
PS600電話機		×		○※3

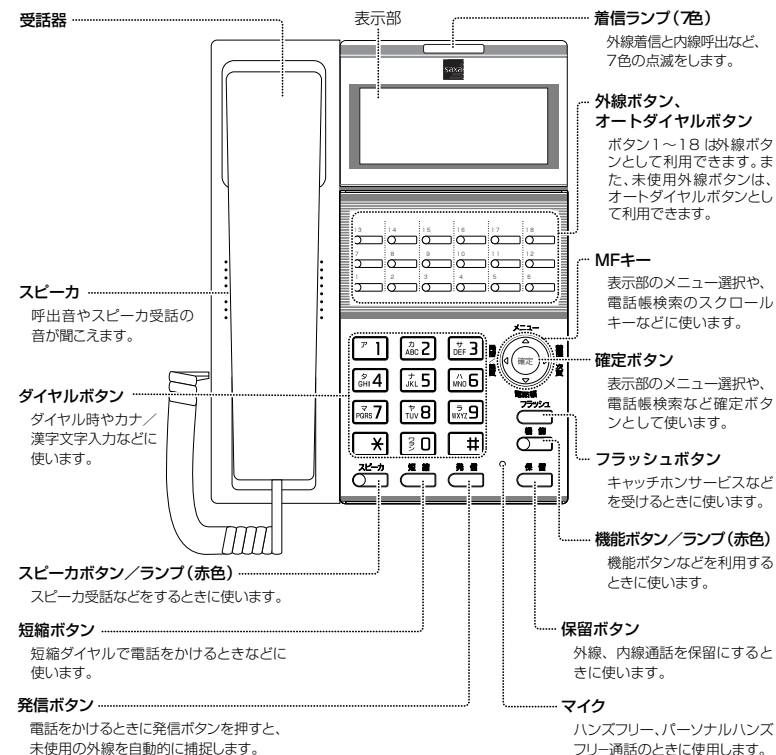
※1：バックライト機能が動作しません。

※2：CL500を接続する場合、CL510・WS510を混在する場合でも接続台数は最大2台までとなります。

※3：Proのみになります。

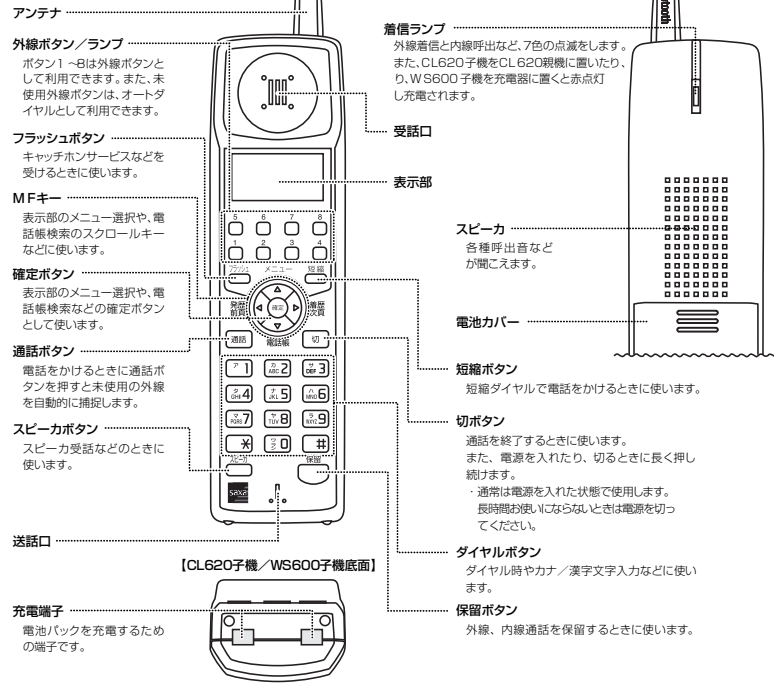
各部の名称と働き

■TD610, APF610, IPF610電話機



CL620電話機, WS600電話機

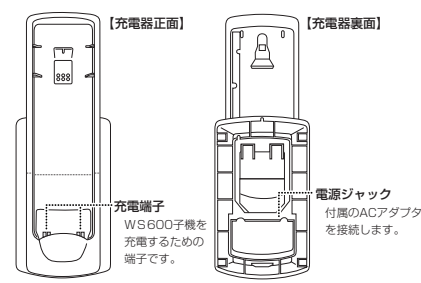
CL 620 子機 / WS600 子機



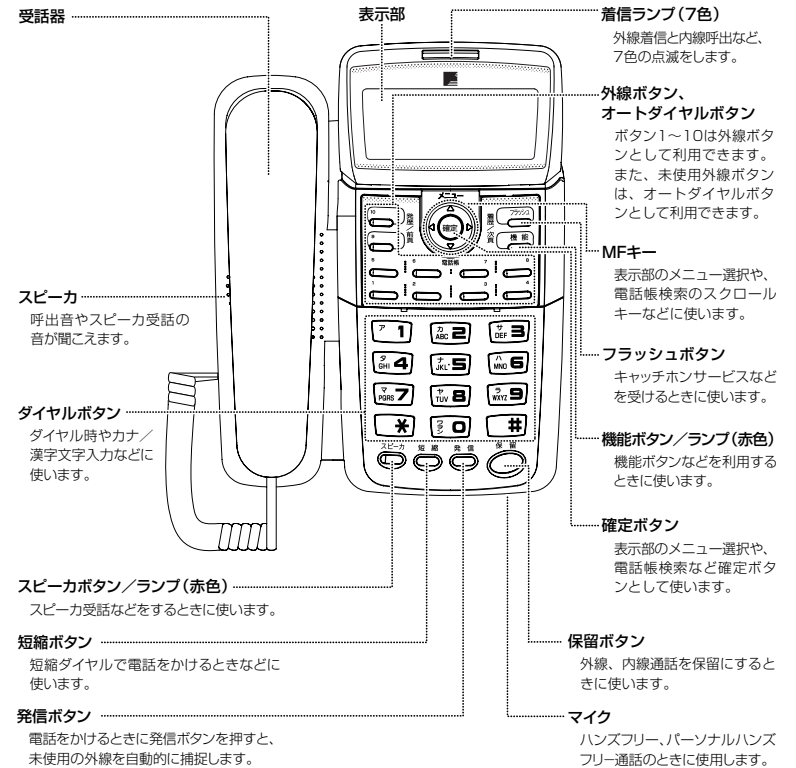
WS600 親機



WS600 子機充電器



LD600電話機



LD600電話機はD610TD620電話機と線寸法、形状が異なりますが、通常の使いかたは同じです。

■DC230電話機

DC子機

着信/充電ランプ

着信のときに赤ランプが早く点滅します。また、充電中は赤ランプが点灯し、充電完了で緑ランプが点灯します。

外線ボタン/ランプ

外線1～6ボタンは外線をかけるときなどに押します。自分が使用中のときは緑色、他人が使用中のときは赤色で点灯します。また、各種機能のボタンとして設定できます。

・保留したあとに(確定)ボタンを押したときなどのランプ表示は変化することがあります。

発信/応答ボタン/ランプ(緑色)

電話をかけるときや電話を受けるときに押します。電話をかけるときに発信/応答ボタンを押すと、未使用の外線を自動的に捕獲し、ランプは外線通話中に点灯します。

ダイヤルボタン

電話番号をダイヤルするときやメモリダイヤルの名前を登録するときなどに押します。

アスタリスクボタン

メモリダイヤルの名前や電話番号を逆順に表示させるときなどに押します。

フック/機能/クリアボタン

フック:キャッチホンサービスを受けるときに押します。

機能:待機状態で、ダイヤルボタンと組み合わせて便利な端末機能を選ぶときなどに押します。

クリア:登録したメモリダイヤルを消去するときなどに押します。

受話口

受話口

アンテナ

伸縮式です。

表示部

外線ボタン/ランプ(緑色)

内線をかけるときなどに押します。ランプは内線通話中に点灯します。

切ボタン

通話を終了するときなどに押します。また、電源を入れたり、切るときに長く押し続けます。

・通常は電源を入れた状態で使用します。長時間お使いにならないときは電源を切ってください。

シャープボタン

メモリダイヤルの名前や電話番号を順番に表示させるときなどに押します。

保留/再送/決定ボタン

保留:外線・内線の通話を保留するときなどに押します。

再送:リダイヤルのメモリの呼び出しなどに使います。

決定:端末機能の設定や、メモリダイヤルの登録/検索で入力したデータを決定するときなどに押します。

送話口

送話口

コール/文字/Pボタン

コール:メモリダイヤルに名前や電話番号を登録したり、登録したメモリダイヤル(最大30件)の内容を表示させ発信するときなどに押します。

文:メモリダイヤルの登録や検索をする場合、カナ/英字/数字のいずれかに切り替えるときに押します。

P:メモリダイヤルにポーズを登録するときなどに押します。

【左面】 【右面】

サウンド

着信音や呼出音などが聞えます。

音量ボタン

着信音量や受話音量を調節するときなどに押します。

ゴムキャップ

・爪先などで、矢印方向(↑)へ押しつけてゴムキャップを持ち上げるとイヤホンマイクジャックがあります。

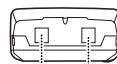
イヤホンマイクジャック

イヤホンマイクを接続します。

外部接続端子

メンテナンスのときだけ使用しますのでさわらないでください。

【底面】



充電端子

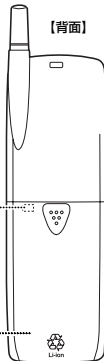
電池(バック)を充電するための端子です。

充電コネクタ

電池(フック)のコードを接続するためのコネクタです。

電池カバー

【背面】



■着信音量を調節する(多機能電話機、CL620、WS600)

外線着信の場合

- 1 (確定)を押す
●CL620子機の場合は、(設定)を押し、「カレンダー」・「時計」表示にしてから(確定)を押します。
- 2 (音量)を押し、[音関係]を選択し、(確定)を押す
- 3 (音量)を押し、[外線着信音量]を選択し、(確定)を押す
- 4 (音量)を押して音量を調節する
- 5 (確定)を押す

内線呼出の場合

- 1 「外線着信の場合」の手順1～2を行う
- 2 (音量)を押し、[内線着信音量]を選択し、(確定)を押す
- 3 「外線着信の場合」の手順4～5を行う

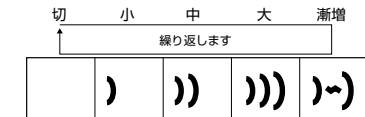
ドアホン呼出の場合

- 1 「外線着信の場合」の手順1～2を行う
- 2 (音量)を押し、[ドアホン着信音量]を選択し、(確定)を押す
- 3 「外線着信の場合」の手順4～5を行う

■着信音量を調節する(DC230)

未使用時に音量ボタンを押すと、外線着信音、内線呼出音、ドアホン呼出音を「切・小・中・大・漸増」の5段階で調節できます。

●お買い上げ時は「小」です。



<表示>

各種音量の調節

■外線着信音を停止する（多機能電話機、CL620、WS600）

セット／解除のしかた

- 1 (確定)を押す
●CL620子機の場合は、(設定)を押し、「カレンダー」・「時計」表示にしてから(設定)を押します。
- 2 (設定)を押してメニューから[その他]を選択し、(確定)を押す
- 3 (設定)を押して[電話機]を選択し、(確定)を押す
- 4 (設定)を押して[外線着信鳴動拒否設定]を選択し、(確定)を押す
●CL620子機、WS600電話機の場合は、「子機サイレント設定」を選択します。
- 5 (設定)を押してON/OFFを選択します
- 6 (確定)を押す

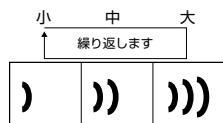
■受話音量を調節する（多機能電話機、CL620、WS600）

- 1 (確定)を押す
●CL620子機の場合は、(設定)を押し、「カレンダー」・「時計」表示にしてから(設定)を押します。
- 2 (設定)を押し、[音関係]を選択し、(確定)を押す
- 3 (設定)を押し、[受話音量]を選択し、(確定)を押す
- 4 (設定)を押して音量を調節する
- 5 (確定)を押す

■受話音量を調節する（DC230）

外線通話、内線通話、ドアホン通話などの通話中に音量ボタンを押すことにより、DC230電話機から聞こえる相手の音声の大きさを「小・中・大」の3段階で調節できます。

●お買い上げ時は「中」です。



<表示>

各種音量の調節

■スピーカ音量を調節する（多機能電話機、CL620、WS600）

- 1 (確定)を押す
●CL620子機の場合は、(設定)を押し、「カレンダー」・「時計」表示にしてから(設定)を押します。
- 2 (設定)を押し、[音関係]を選択し、(確定)を押す
- 3 (設定)を押し、[スピーカ受話音量]を選択し、(確定)を押す
- 4 (設定)を押して音量を調節する
- 5 (確定)を押す

■話中着信音量を調節する（多機能電話機、CL620、WS600）

- 1 (確定)を押す
●CL620子機の場合は、(設定)を押し、「カレンダー」・「時計」表示にしてから(設定)を押します。
- 2 (設定)を押し、[音関係]を選択し、(確定)を押す
- 3 (設定)を押し、[話中着信音量]を選択し、(確定)を押す
- 4 (設定)を押して音量を調節する
- 5 (確定)を押す

各種音量の調節

■キー押下音を停止する（多機能電話機、CL620、WS600）

セット／解除のしかた

- 1 を押す
●CL620子機の場合は、を押し、「カレンダー」→「時計」表示にしてからを押します。
- 2 を押し、[音関係]を選択し、を押す
- 3 を押し、[ボタン押下音設定]を選択し、を押す
- 4 を押して「ON」か「OFF」を選択し、を押す

■キー押下音を停止する（DC230）

セット／解除のしかた

- 1 を押す
- 2 を押す
- 3 を押す
●お買い上げ時は「ON」です。
- 4 （または ）を押す
- 5 を押す

外線ボタンに各種機能のボタンを割り付ける

■外線ボタンに各種機能のボタンを割り付ける

（CL620子機、WS600電話機）

CL620子機、WS600電話機の未使用 に 、 を割り付けると、各種機能の設定・変更などがCL620子機、WS600電話機からも操作できるようになります。

●お買い上げ時は「外線ボタン」です。

登録のしかた

- 1 を押す
●CL620子機の場合は、を押し、「カレンダー」→「時計」表示にしてからを押します。
- 2 を押し、[その他]を選択し、を押す
- 3 を押し、[キー登録]を選択し、を押す
- 4 を押して外線1～8を選択し、を押す
- 5 を押して割り付けたい機能を選択し、を押す
●「会議」「機能」「内線」を割り付ける場合はでカーソルを上下移動させます。
●外線/オートを選択し、を押した場合は手順6の操作を実施します。「会議」「機能」「内線」を割り付けた場合は「設定しました」の表示後、手順4に戻ります。
- 6 オート番号（01～30）を入力します
●ダイヤルボタンを使用して登録したいオート番号（01～30）を入力します。
●外必ず2桁入力してください。
●オート番号の2桁が入力されると「キー登録」が登録され、手順4に戻ります。

確認のしかた

「登録のしかた」の手順1～4を行います

外線ボタンに各種機能のボタンを割り付ける

■外線ボタンに各種機能のボタンを割り付ける (DC230電話機)

DC230電話機の未使用(外線)に(会議)、(機能(F))、(オート)、(短縮)などを以下方法で割り付けると、各種機能の設定・変更などがDC230電話機からも操作できるようになります。

●お買い上げ時は「外線ボタン」です。

登録のしかた

- 1 内線 (1) (2) を押す
- 2 外線 (1) ~ (6) のいずれかを押す
- 3 (2) (または (3)) で割り付けるボタンを選択する
 - (2) を押すたびにボタン表示が順番に切り替わります。
(3) は逆順に切り替わります

外線番号 (1) ~ (6) 例: 外線6

「外線6」表示 外線ボタンになります。
 (2) ↑ ↓ (3)

「発信」表示 発信ボタンになります。
 ↑ ↓

「応答」表示 応答ボタンになります。
 ↑ ↓

「会議」表示 会議ボタンになります。
 ↑ ↓

「機能(F)」表示 機能(F)ボタンになります。
 ↑ ↓

「短縮」表示 短縮ボタンになります。
 ↑ ↓

「オート6」表示 オートボタン
 (6)はオートダイヤル番号を示します
 ↑ ↓

「Fオート13」表示 Fオート13ボタンになります。
 ↑ ↓

「Fオート14」表示 Fオート14ボタンになります。
- 4 (4) を押す
- 5 割り付けを終える時は (5) を押す

確認のしかた

- 1 「登録のしかた」の手順1~2を行います
- 2 (6) を押す

コントラスト調節

■コントラスト調整 (多機能電話機、CL620親子機、WS600電話機)

- 1 (確定) を押す
 - CL620子機の場合は、(設定) を押し、「カレンダー」・「時計」表示にしてから (確定) を押します。
- 2 (方向) を押し、[その他] を選択し、(確定) を押す
- 3 (方向) を押し、[電話機] を選択し、(確定) を押す
- 4 (方向) を押し、[コントラスト調整] を選択し、(確定) を押す
- 5 (方向) を押し、コントラストを調整する
- 6 (確定) を押す

■コントラスト調節 (DC230電話機)

- 1 (フック) (8 TLM) (2 カ) を押す
 LCDコントラスト
 淡 ■■■ □ □ 濃
- 2 (3) (または (2)) を押す
- 3 (保留) を押す

カレンダー・時計の設定

■カレンダー・時計の設定 (多機能電話機、CL620親機)

カレンダーの設定

- 1 を押す
- 2 を押し、[その他]を選択し、を押す
- 3 を押し、[システム]を選択し、を押す
- 4 を押し、[カレンダー/時計設定]を選択し、を押す
- 5 を押し、[カレンダー]を選択し、を押す
- 6 年/月/日を入力する
 - ～のいずれかで西暦の下2桁を入力します。
 - ～のいずれかで月を入力します。
 - ～のいずれかで日を入力します。
 - 年、月、日を入力すると自動的に曜日が表示されます。
- 7 を押す

時計の設定

- 1 を押す
- 2 を押し、[その他]を選択し、を押す
- 3 を押し、[システム]を選択し、を押す
- 4 を押し、[カレンダー/時計設定]を選択し、を押す
- 5 を押し、[時刻]を選択し、を押す
- 6 時間(24時間制)を入力する
- 7 を押す

カレンダー・時計の設定

■カレンダー・時計の設定 (多機能電話機、CL620親機)

待機状態でのカレンダー・時計表示

- 1 を押す
- 2 を押し、[その他]を選択し、を押す
- 3 を押し、[システム]を選択し、を押す
- 4 を押し、[表示設定]を選択し、を押す
- 5 を押し、[待機表示]を選択し、を押す
- 6 を押して文字サイズを選択する
 - 横倍 (カレンダー・時計表示が2行)
 - 縦倍 (カレンダー・時計表示が1行)
 - 標準 (カレンダー・時計表示が1行)
- 7 を押す

待機状態での時刻表示

- 1 を押す
- 2 を押し、[その他]を選択し、を押す
- 3 を押し、[システム]を選択し、を押す
- 4 を押し、[表示設定]を選択し、を押す
- 5 を押し、[時刻表示]を選択し、を押す
- 6 を押して時刻表示を選択する
 - 12時間制 (午前12:00～午後11:59)
 - 24時間制 (00:00～23:59)
- 7 を押す

バックライトの設定

■バックライトの設定 (多機能電話機、CL620親子機、WS600電話機)

多機能電話機、CL620親子機の場合は
 ●表示部のバックライトは、3つの状態に変更できます。

バックライトの状態	内容
都度点灯	電話をかけたり、受けたりするときなどに一時的に点灯します。(待機中は消灯)
常時点灯	使用中または待機中、常に点灯状態です。
常時消灯	使用中または待機中、常に消灯状態です。

CL620子機、WS600電話機は

バックライトの状態	内容
ON (都度点灯)	電話をかけたり、受けたりするときなどに一時的に点灯します。(待機中は消灯)
OFF (常時消灯)	使用中または待機中、常に点灯状態です。

- 1 を押す
 ●CL620子機の場合は、 を押し、「カレンダー - 時計」表示にしてから を押します。
- 2 を押し、[その他] を選択し、 を押す

- 3 を押し、[電話機] を選択し、 を押す

- 4 を押し、[LCDバックライト設定] を選択し、 を押す

- 5 を押し、バックライトの点灯の設定を選択する

- 6 を押す

電話帳

■電話帳に登録する (多機能電話機、CL620親子機、WS600電話機)

- 1 を押す
 ●CL620子機の場合は、 を押し、「カレンダー - 時計」表示にしてから を押します。

- 2 を押し、[電話帳] を選択し、 を押す

- 3 を押し、[新規登録] を選択し、 を押す

- 4 登録したい短縮番号をダイヤルボタンで入力します
 ●短縮番号をダイヤルボタンで4桁(0000~3999)入力すると、短縮番号が仮登録され、「電話帳登録」へ進みます。
 ●入力された短縮番号が登録済みの場合は、登録内容が表示されます。ただし、他の電話機でグループ登録「個別」に登録されている短縮番号は指定できません。
 ● を押すと空きの短縮番号が自動で入力されます。ただし、空き短縮番号がない場合は登録できません。

- 5 を押し、[グループ] を選択し、 を押す

- 6 を押し、[電話番号] を選択し、 を押す

- 7 を押し、[名前] を選択し、 を押す

- 8 を押し、[カナ] を選択し、 を押す

- 9 を押し、[着信音] を選択し、 を押す

- 10 を押し、[着信先] を選択し、 を押す

- 11 を押し、[メモ] を選択し、 を押す

- 12 を押し、[登録] を選択し、 を押す

■電話帳に登録する（多機能電話機、CL620親子機、WS600電話機）

グループの入力のしかた

1 を押して登録するグループを選択します

2 登録するグループを確認し、 を押す

電話番号の入力のしかた

1 登録する電話番号をダイヤルボタンで入力します

- 電話番号を登録します。
- 電話番号は最大24桁まで入力できます。
- を押すと特殊コードを入力できます。
- 複数番号を組み合わせて登録するネ스팅ダイヤルの場合は、[]内に短縮番号を入れてください。（最大4つ）
- 入力した番号を間違えた場合は を押して消去します。

2 入力した番号に間違いがないか確認し を押す

名前の入力のしかた

1 登録する名前をダイヤルボタンで入力します

- 文字入力はダイヤルボタンから入力します。（文字数は全角で最大16文字です）
- で文字入力モードを変更します。かな（漢）→カナ（カナ）→英字（英）→数字（数）を繰り返します。

2 を押して変換し で候補を決定する

- 「かな」モードで入力された文字を漢字に変換します。
- で変換する文字範囲を変更できます。
- 表示された候補の次候補を表示させたいときは を押して下さい。
- 変換候補で確定する漢字が表示されないときは、 を押した後にかな文字で変換文字を変更してください。

3 入力した名前に間違いがないか確認し、 を押す

カナの入力のしかた

カナは名前入力時に自動的に入力されます。

1 カナを編集します

- 入力文字はダイヤルボタンから入力します。（文字数は半角で最大16文字です）
- カーソル移動し、カナを編集します。
- で文字入力モードを変更します。カナ（カナ）→英字（英）→数字（数）を繰り返します。
- 「カナ」モードで を押すとスペース（空）が入力できます。

2 入力したカナに間違いがないか確認し、 を押す

着信音の入力のしかた

識別着信の設定をします。
この機能を使用される場合はナンバー・ディスプレイサービスのご契約と工事設定が必要です。

1 を押して着信音を選択します

- 「設定なし」、「着信音A～着信音H」、「保留×ロディ」、「着信メロディ」から着信音を選択できます。
- 保留×ロディに設定すると、保留音と兼用となります。

2 を押します

つづく➡

■電話帳に登録する（多機能電話機、CL620親子機、WS600電話機）

メモの入力のしかた

メモを入力しておく、電話帳に登録した電話番号の相手から着信があったとき、内線電話機にメモの内容が表示されます。

1 登録するメモをダイヤルボタンで入力します

- で文字入力モードを変更します。かな（漢）→カナ（カナ）→英字（英）→数字（数）を繰り返します。

2 を押して変換し で候補を決定する

- 「かな」モードで入力された文字を漢字に変換します。

3 入力したメモに間違いがないか確認し、 を押す

着信先の入力のしかた

発ID識別着信の設定をします。発ID識別着信のグループ着信はこの手順のグループA～グループDを設定します。この機能を使用される場合はナンバー・ディスプレイサービスのご契約と工事設定が必要です。

1 を押して着信先のグループを選択します

- 「内線グループA～D」は工事設定により指定された内線電話機が外線着信のときに鳴ります。

2 選択した項目を確認し、 を押す

■発信履歴から電話帳に登録する
（多機能電話機、CL620親子機、WS600電話機）

1 を押す

- CL620子機の場合は、 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから を押します。

2 を押して[履歴（発信／着信）]を選択し、 を押す

3 を押して[発信履歴]を選択し、 を押す

4 を押して登録する電話番号を選択し、 を押す

5 を押して「電話帳登録」を選択し、 を押す

6 電話帳登録の「電話帳に登録する」の手順4～12を行う

■着信履歴から電話帳に登録する

(多機能電話機、CL620親子機、WS600電話機)

- 1 を押す
●CL620子機の場合は、を押し、「カレンダー
— 時計」表示にしてからを押します。
- 2 を押して[履歴(発信/着信)]を選択し、を押す
- 3 を押して[システム着信履歴]、[個別着信履歴]のいずれかを選択し、を押す
- 4 を押して登録する電話番号を選択し、を押す
- 5 を押して[電話帳登録]を選択し、を押す
- 6 電話帳登録の「電話帳に登録する」の手順4～12を行う

■電話帳を変更する(多機能電話機、CL620親子機、WS600電話機)

- 1 を押す
●CL620子機の場合は、を押し、「カレンダー
— 時計」表示にしてからを押します。
- 2 を押して[電話帳]を選択し、を押す
- 3 を押して[一覧表示]を選択し、を押す
- 4 を押して変更する短縮番号を選択し、を押す
- 5 を押して[変更]を選択し、を押す
- 6 を押して変更する内容を選択し、を押して変更する
- 7 を押して[登録]を選択し、を押す
- 8 を押して「はい」を選択し、を押す

■電話帳を消去する(多機能電話機、CL620親子機、WS600電話機)

- 1 を押す
●CL620子機の場合は、を押し、「カレンダー
— 時計」表示にしてからを押します。
- 2 を押して[電話帳]を選択し、を押す
- 3 を押して[一覧表示]を選択し、を押す
- 4 を押して消去する短縮番号を選択し、を押す
- 5 を押して[消去]を選択し、を押す
- 6 を押して[はい]を選択し、を押す

内線転送

■外線通話を保留する

(多機能電話機、CL620親子機、WS600電話機、DC230電話機)

- | 1 | 外線通話中 | 保留再応答のしかた |
|---|----------|-----------------|
| 1 | | ☞ |
| 2 | [保留] を押す | 2 保留中の [外線] を押す |
| 3 | ☞ | |

■自動転送

(多機能電話機、CL620親子機、WS600電話機、DC230電話機)

- | 転送する側の操作 | | 転送される側の操作 | |
|----------|--------------------------------|-----------|--------|
| 1 | 外線通話中 | 1 | 呼出音が鳴る |
| 2 | [保留] を押す | 2 | ☞ |
| 3 | 転送先の内線番号を押す
●呼出音「ブー」が聞こえます。 | | |
| 4 | 転送先の相手と通話します | | |
| 5 | ☞ | | |

内線転送

■強制転送

(多機能電話機、CL620親子機、WS600電話機、DC230電話機)

- | 転送する側の操作 | | 転送される側の操作 | |
|----------|---|-----------|--|
| 1 | 外線通話中 | 1 | 呼出音が鳴る |
| 2 | [保留] を押す | 2 | ☞ |
| 3 | 転送先の内線番号を押す | | ●DC230電話機の場合は、保留中の [外線] (または [☞]) を押すと外線相手と繋がります。
→ [外線] ランプ：緑点灯
→ 着信ランプ：消灯
→ [☞] ランプ：緑点灯 |
| 4 | ☞ | | |
| | 転送される側が応答しないで、約30秒経過したときは、次の手順5～7の操作をします。 | | |
| 5 | 保留警報音が鳴る | | |
| 6 | ☞ | | ●DC230電話機の場合は、本操作を行う必要はありません。 |
| 7 | [外線] を押す | | |

内線転送

■口答転送

(多機能電話機、CL620親子機、WS600電話機、DC230電話機)

転送する側の操作

1 外線通話中

2 (保留) を押す

3 

4 口頭で呼びかける

転送される側の操作

1 

2 保留中の(外線) を押す

3 外線相手と通話する

留守番

■留守番の概要について

本システムは、基本的に留守番機能をActys IIは2系統、UT700Stdは3系統、UT700Proは4系統利用できます。
 ・本機能を使用する場合には、工事設定により留守番指定電話機の設定が必要です。
 ・本機能は、多機能電話機、CL620親子機のみで使用できます。

留守番モード

＜応答録音(留守番)＞

●留守番セット中にかかってきた電話に、応答録音メッセージを流して、相手の用件を録音します。
 用件が録音されると、電話機表示部に用件録音の件数が表示されます。(最大99件) 応答録音には、モード1～3があり、使用状況により使い分けすることができます。また、モード1には固定内蔵メッセージ「ただいま、留守にしております。ピーという音のあとに、ご用件をお話ください」を用意してあります。

＜応答専用(お知らせ)＞

●留守番セット中にかかってきた電話機に応答専用メッセージを2回流して、通話を終了します。(相手の用件は、録音されません) 応答録音には、モード1～3があり、使用状況により使い分けすることができます。また、モード1には固定内蔵メッセージ「ただいま、留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください」を用意してあります。

応答録音と応答専用には、それぞれ3つのモードがあります。

■各モード毎のメッセージ例

- モード1・・・「本日の業務は終了しました。」
- モード2・・・「・・・営業開始時間は、朝9：00からとなっております」
- モード3・・・「・・・本日は、休業となっております。後日あらためて・・・」

■留守番1のみで使用する場合 ※留守番2を使用する場合は、それぞれの留守番録音とお知らせのメッセージがあります。

留守録 (モード1) 1件最大5分	留守録 (モード2) 1件最大5分	留守録 (モード3) 1件最大5分	お知らせ (モード1) 1件最大5分	お知らせ (モード2) 1件最大5分	お知らせ (モード3) 1件最大5分	お待たせ メッセージ 1件最大5分	一次応答 メッセージ 1件最大5分	ワン留守 メッセージ 1件最大5分	用件最大 99件 1件最大5分
-------------------------	-------------------------	-------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-----------------------

「留守録」と「お知らせ」で別々のメッセージ

留守番

《追っかけ転送》

- 留守番セット中に用件が録音されると、あらかじめ登録しておいた携帯電話などへ自動的に電話をかけ、録音されたことを通知します。そのまま外出先からリモコン操作で用件を再生し、確認することもできます。
- 転送先へは、用件が録音されてから約1分後に約50秒間呼び出し、応答しない場合は3分後に繰り返しかけ直します。
- ※工事設定により、携帯電話に発信するとき、あらかじめ登録したアクセスコードを自動的に付加して発信することができます。

《留守番サイレント》

- 留守番応答時に、相手の声を留守番指定電話機のスピーカから送出しなくすることができます。
- 留守番1～2*でそれぞれ別々に設定することができます。
- ※一度サイレントモードにセットすると、留守番のセット/解除にかかわらず、サイレントモードを解除するまではサイレント留守番のままになります。

留守番子機切替

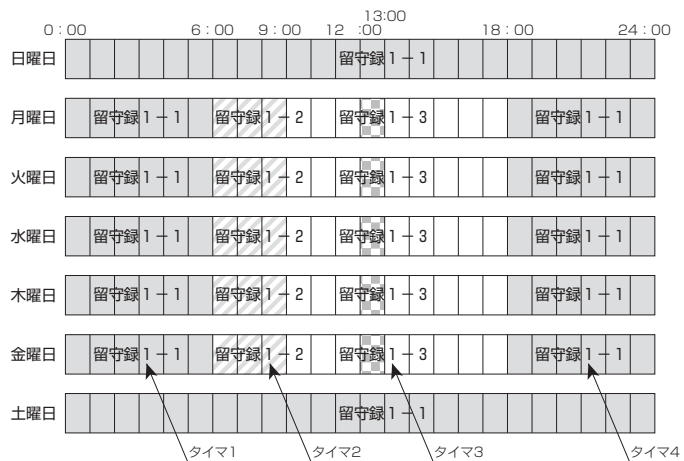
- 2系統*の留守番を利用している場合に、**○留守番切替**を押下した電話機を、留守番指定電話機に切り替えて、各留守番の操作を行うことができます。
- ※留守番1→2→REC Busy→1・・・
- ※**○留守番切替**は**○オート**に登録します。

留守番タイマ連動

- あらかじめ設定した時刻になると、留守番のセット/解除を自動で行います。
- 各曜日ごとに4パターンの留守番セット/解除のタイマを設定できます。
- 平日用、休日用、昼休み用などに分けて、留守番タイマを設定できます。
- ※留守番1～2*でタイマを設定することができます。
- ※留守番タイマ連動は、手動で留守番設定が設定されている場合、留守番タイマ連動は無効となり、手動での留守番設定で動作します。
- (注) *はActys IIの場合です。

《例》

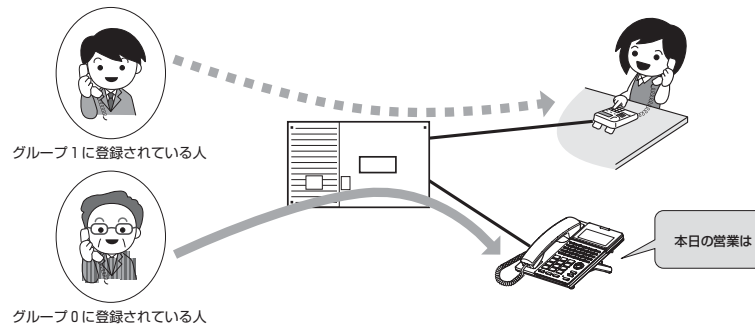
- 営業時間は月曜～金曜 9:00～18:00 途中12:00～13:00まで昼休み
- 留守録1-1:「本日の営業は終了しました。営業時間は月曜から金曜の9:00からとなっております」
- 留守録1-2:「本日の営業は、9:00からとなっております。9:00以降におかけ直してください」
- 留守録1-3:「ただいまお昼休みとなっております。13:00以降におかけ直してください」



留守番

グループ識別着信留守番

- 電話帳に登録されたグループ毎に留守番応答するか、しないかを指定することができます。



手動応答（お待たせメッセージ応答）

- 外線通話中のときに、ほかの外線へ着信があっても、応答できる人がいないときなど、通話中の電話機操作で**○お待たせ**を押すと、お待たせメッセージを流して応答させることができます。メッセージが流れた後、自動的に保留状態になります。
- お待たせメッセージは固定内蔵メッセージ「ただいま電話が混み合っております。恐れ入りますが、そのままお待ちいただくか、のちほどおかけ直してください」を用意してあります。
- ※**○お待たせ**は、**○オート**に登録します。

ワンショット留守番

- 外線通話中に他の外線に着信があり電話に回答できる人がいないとき通話中の電話機で**○ワンショット**を押すと、ワンショットメッセージで応答させることができます。メッセージ送出後は、相手にメッセージを録音してもらうことができますので、通話が終了したら録音されたメッセージを再生し、対応することができます。また、ワンショットメッセージには固定内蔵メッセージ「ただ今、電話が混み合っております。ピーという音のあとにご用件をお話ください」を用意してあります。
- ※**○ワンショット**は、**○オート**に登録します。
- ※本機能は、留守番指定電話機以外でも使用できます。

通話メモ

- 通話中に連絡先やアポイントを取るときなど、ちょっとした予定などをメモする代わりに録音しておくことができます。
- 録音は、電話機共通で録音するモードと電話機個別で録音するモードがあります。
- 電話機共通・・・通話メモに使用するRECチャンネルが同一のRECチャンネルグループ同士で共通で録音/再生をします。同一グループであれば、どの電話機からでも再生可能です。
- 電話機個別・・・各電話機毎に録音/再生をします。録音した電話機からのみ再生可能です。
- ※最大録音件数は、99件です。
- ※工事設定により、電話機共通と電話機個別を切り替えることができます。

留守番リモコン機能

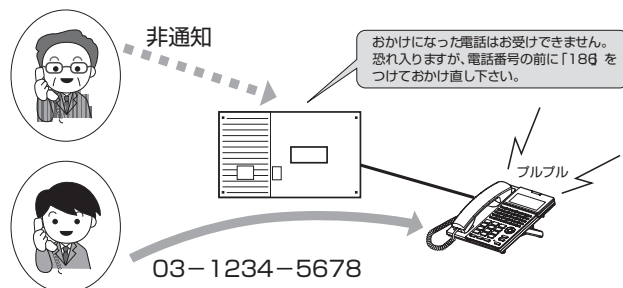
- 外出先の電話機から、留守番のセット/解除/用件再生などを行うことができます。プッシュ信号を送出できる電話機からであれば、どこからでも操作できます。

その他の留守番機能

- ① 用件自動消去・・・一度再生した用件は、次回留守番セットされたときに自動的に一括消去することができます。(工事設定によります)
- ② 用件自動再生・・・留守番セットを解除すると、録音された用件を自動再生します。用件再生するときに、用件が録音された日時が電話機表示部に表示されます。

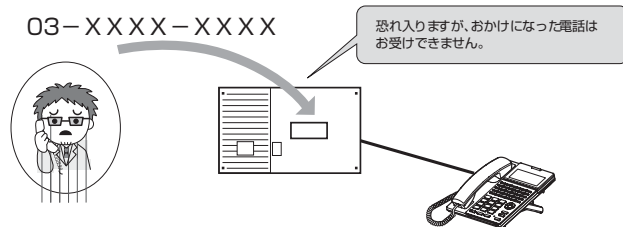
非通知着信拒否

- 発信者番号が非通知状態で電話がかかってきたら、自動応答して非通知着信拒否メッセージを1回流したあとに電話を切ります。
- 非通知拒否用メッセージが録音されていない場合は、内蔵固定メッセージ「おかけになった電話番号はお受けできません。恐れ入りますが、電話番号の前に186をつけておかけ直しください」が流れます。
- ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要となります。
- 工事設定により「非通知・迷惑電話拒否」を行うと、「非通知着信拒否」と「迷惑電話拒否」が同時にセットできます。
- 工事設定により、非通知の着信にメッセージではなく、ビジー（話中音）を返すこともできます。



迷惑電話拒否

- 迷惑電話の発信者番号を登録し（最大300件）、登録されている番号から電話がかかってきたときには、自動応答して迷惑電話拒否メッセージを1回流したあとに電話を切ります。
- 迷惑電話拒否メッセージが録音されていない場合は、固定内蔵メッセージ「恐れ入りますが、おかけになった電話は、お受けできません」が流れます。
- ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要となります。
- 工事設定により、「非通知・迷惑電話拒否」を行うと、「非通知着信拒否」と「迷惑電話拒否」が同時にセットできます。
- 工事設定により、迷惑電話の着信にメッセージではなく、ビジー（話中音）を返すこともできます。



留守番指定電話機

工事設定により、留守番指定電話機を2台まで設定できます。留守番指定電話機に設定されたとき、次の留守番用ボタンが自動的に割り付けられます。

電話機の種別	ボタン名称				
	レビュー	用件再生	スキップ	消去	留守
T D610、APF610、IPF610電話機	オート14	オート15	オート16	オート17	オート18
T D620電話機	オート26	オート27	オート28	オート29	オート30
LD600電話機	オート6	オート9	オート7	オート8	オート10

登録のしかた

- 留守番指定電話機のオートダイヤルのボタンを変更する場合、電話機（フネ）に特殊番号が登録できます。

特殊番号	ボタン名称	動作内容
25	レビュー	用件および通話メモ再生中に、1つ前の用件を再生するときに使用する
24	用件再生	1件目の用件から再生したり、再生中にメッセージの頭出しに使用する
23	スキップ	用件および通話メモ再生中に、次の用件を再生するときに使用する
22	消去	用件、通話メモの消去に使用する
20	留守	留守番セットまたは解除するときに使用する
21	再生	用件番号を指定して、用件再生をするときに使用する 例：3件目の用件を再生する場合 ○再(再) → 20(20) (用件番号を2桁で入力)
26	通話メモ	通話メモを録音するときに使用する
27	メモ再生	通話メモを再生するときに使用する
29	留守 子機切替	留守番指定電話機に切り替えて操作できます。 ・本機能は、留守番指定電話機以外でも操作できます。
30	ワン留守	ワン留守応答セットするときに使用する ・本機能は、留守番指定電話機以外でも操作できます。

留守番

■各種メッセージの録音/確認/変更/消去にしかた
(多機能電話機、CL620親機)

録音のしかた

- 1 を押す
- 2 を押して[留守番関係]を選択し、 を押す
- 3 を押して[各種メッセージの設定]を選択し、 を押す
- 4 を押して設定したいメッセージを選択し、 を押す
 - メッセージは以下から選択します。
 - ①留守録メッセージ1
 - ②留守録メッセージ2
 - ③留守録メッセージ3
 - ④応答専用メッセージ1
 - ⑤応答専用メッセージ2
 - ⑥応答専用メッセージ3
 - ⑦お待たせメッセージ
 - ⑧外線転送メッセージ
 - ⑨非通知着信拒否メッセージ
 - ⑩迷惑電話拒否メッセージ
 - ⑪ワン留守メッセージ

- 5 を押して[録音]を選択し、 を押す
 - 6
 - 7 を押す
 - 「録音」を開始します。
 - 受話器を上げないで を押しても、マイクで録音を開始します。
 - 8 受話器からメッセージを録音する
 - 録音中に を押すと、録音を終了します。
 - 9
- マイクから録音した場合は を押します。

※留守番機能をご利用になるには、事前に工事設定が必要です。
(工事設定については、工事店へご依頼願います。)

留守番

確認のしかた

- 1 「録音のしかた」の手順1～手順4と同じ操作を行う
- 2 を押して[再生]を選択し、 を押す
- 3 を押す

変更のしかた

- 1 「録音のしかた」と同じ操作を行います

消去のしかた

- 1 「録音のしかた」の手順1～手順4と同じ操作を行う
- 2 を押して[消去]を選択し、 を押す
- 3 を押して[はい]を選択し、 を押す

■留守自動応答時間指定 (多機能電話機、CL620親機)

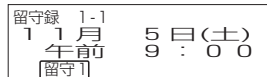
変更のしかた

- 1 を押す
- 2 を押して[留守番関係]を選択し、 を押す
- 3 を押して[留守番自動応答時間]を選択し、 を押す
- 4 応答時間を入力する
 - 001～180秒のいずれかを入力してください。
 - 000は入力できません。
 - 必ず3桁入力してください。

留守番

■留守セットのしかた (多機能電話機、CL620電話機)

1 ○留守を押す



- ※1: 応答録音で使うか、応答専用で使うかは工事設定によります。
- ※2: 応答録音 (モード2、3) および応答専用 (モード2、3) のモードは、応答録音メッセージ (モード2、3)、応答専用メッセージ (モード2、3) が録音されている場合だけセットできます。
- ※3: 応答録音メッセージ (モード1) または、応答専用メッセージ (モード1) が録音されていない場合、内蔵の固定メッセージを流します。
- ※4: 「n」の表記は留守番指定電話機の番号を表示します。(n = 1~2)
- ※5: 転送先電話番号の登録および、リモコン機能の暗証番号の登録がされていない場合、追っかけ転送の留守番セットはできません。
- ※6: 追っかけ転送のメッセージは、応答録音メッセージ (モード1~3) と共通です。

■留守番サイレント設定 (多機能電話機、CL620親機)

セット/解除のしかた

1 (確定)を押す

2 (設定)を押して[留守番関係]を選択し、(確定)を押す

3 (設定)を押して[留守番サイレント設定]を選択し、(確定)を押す

4 (設定)を押して[ON]を選択し、(確定)を押す

- 解除するときは、「OFF」を選択し、(確定)を押します。

留守番

■追っかけ転送先電話番号を登録する (多機能電話機、CL620親機)

各留守番指定電話機から別々に操作します。

登録のしかた

1 (設定)を押す

2 (設定)を押して[留守番関係]を選択し、(確定)を押す

3 (設定)を押して[追っかけ転送先電話番号]を選択し、(設定)を押す

4 (設定)を押して[登録]を選択し、(確定)を押す

5 追っかけ転送先の電話番号を入力し、(設定)を押す

- 電話番号は最大24桁まで入力できます。
- (短縮)を押すと特殊コードを入力できます。
(短縮)を押すごとに、ボース:「P」→ハイフン:「-」→ネスティングコード:「0」を繰り返します。
- 入力番号を間違えた場合は(フラッシュ)を押して消去します。

確認のしかた

1 (設定)を押す

2 (設定)を押して[留守番関係]を選択し、(設定)を押す

3 (設定)を押して[追っかけ転送先電話番号]を選択し、(設定)を押す

変更のしかた

「登録のしかた」と同じ操作を行います。

- 登録済みの電話番号は(フラッシュ)を押すと一文字消せます。

消去のしかた

1 「登録のしかた」の手順1~手順3と同じ操作を行う

2 (設定)を押して[消去]を選択し、(設定)を押す

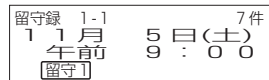
3 (設定)を押して[はい]を選択し、(設定)を押す

留守番

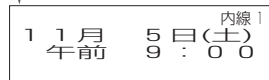
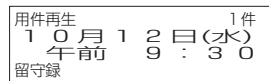
■録音された用件の再生/消去 (多機能電話機、CL620親機)

用件再生のしかた

留守番セットの状態から

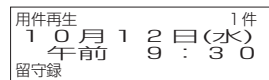


1 ○留守 を押す

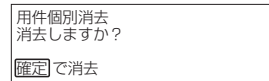


用件消去のしかた (個別消去)

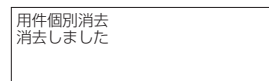
1 ○用件再生 を押す



2 ○消去 を押す



3 [確定] を押す

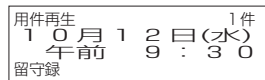


用件消去のしかた (一括消去)

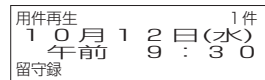
●用件の一括消去は、「用件一括消去」をご覧ください。

用件をもう一度初めから聞きたいとき

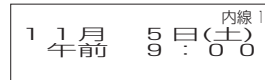
1 ○用件再生 を押す



4 ●次の用件がある場合



●次の用件がない場合



留守番

■お待たせメッセージ応答

(多機能電話機、CL620親子機、WS600電話機、DC230電話機)

外線通話中に別外線に着信が来たとき、すぐに応答できない場合は、電話機の操作により、お待たせメッセージを別外線の相手に1回流したあと、保留音を流します。

基本的な操作

(例) 外線1通話中に外線2に着信が来たときの操作

1 ○機能 を押す

2 ○外線 (外線2ボタン) を押す

ワンタッチでの操作

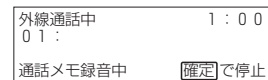
オートダイヤルに○お待たせを登録しておく、ワンタッチでお待たせメッセージ応答操作ができます。

1 ○お待たせ を押す

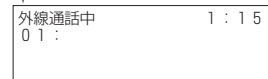
■通話メモ (多機能電話機、CL620親機)

録音のしかた

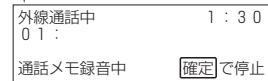
1 外線通話中に○通話メモ を押す



●通話メモ録音を行います。

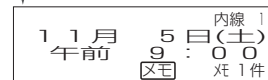


●録音中に○を押しと通話メモ録音を停止します。



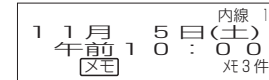
●再度○通話メモを押すと録音を再開します。

2 ○(終話)



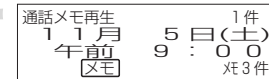
再生のしかた

1 ○(「カレンダー時計」表示)



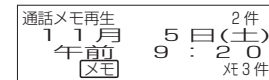
●表示部に件数が表示されています。

2 ○メモ再生 を押す



●再生開始音「ピー」が聞こえます。
●通話メモ1の再生が開始されます。

3 再生が終わると、続けて次のメモを連続再生する



●表示例：「通話メモ2」再生開始

※通話メモをするためには、工事設定が必要です。

留守番

■リモコン操作一覧

機能項目		リモコン番号	動作内容
レビュ※1		※1	1つ前の用件を再生
用件再生※2		※2	録音された用件を再生
キュー(スキップ)※3		※3	1つ後の用件を再生
応答録音メッセージ	モード1	再生※4	応答録音メッセージ(モード1)の再生
		録音(変更)※5	応答録音メッセージ(モード1)録音(変更)
	モード2	再生※4	応答録音メッセージ(モード2)の再生
		録音(変更)※5	応答録音メッセージ(モード2)録音(変更)
	モード3	再生※4	応答録音メッセージ(モード3)の再生
		録音(変更)※5	応答録音メッセージ(モード3)録音(変更)
応答専用メッセージ	モード1	再生※6	応答専用メッセージ(モード1)の再生
		録音(変更)※7	応答専用メッセージ(モード1)録音(変更)
	モード2	再生※6	応答専用メッセージ(モード2)の再生
		録音(変更)※7	応答専用メッセージ(モード2)録音(変更)
	モード3	再生※6	応答専用メッセージ(モード3)の再生
		録音(変更)※7	応答専用メッセージ(モード3)録音(変更)
追っかけ転送の転送先電話番号の登録(変更)※8		転送先電話番号(最大24桁) ↓ ##	追っかけ転送の転送先電話番号の登録(変更)
留守番セット	応答録音※9	※8 1	応答録音(モード1)のセット
		※8 2	応答録音(モード2)のセット
		※8 3	応答録音(モード3)のセット
	応答専用※10	※8 4	応答専用(モード1)のセット
		※8 5	応答専用(モード2)のセット
		※8 6	応答専用(モード3)のセット
	追っかけ転送※11	※8 7	追っかけ転送留守番(モード1)のセット
※8 8		追っかけ転送留守番(モード2)のセット	
留守番セットの解除※12		※8 9	留守番セットの解除
用件オールクリア※13		※9 1	すべての用件を消去
終了※14		※0	リモコン操作の終了

- ※1 : メッセージ「前の用件は……(用件の内容)」が聞こえます。
- ※2 : メッセージ「××件です。最初の用件は……(用件の内容)」が聞こえます。
- ※3 : メッセージ「次の用件は……(用件の内容)」が聞こえます。
- ※4 : メッセージ「留守録メッセージXを再生します。」が聞こえます。(X:1~3)
- ※5 : メッセージ「留守録メッセージXを録音します。発信音のあとにメッセージをどうぞ。ピー」が聞こえます。(X:1~3)
- ※6 : メッセージ「お知らせメッセージXを再生します。」が聞こえます。(X:1~3)
- ※7 : メッセージ「お知らせメッセージXを録音します。発信音のあとにメッセージをどうぞ。ピー」が聞こえます。(X:1~3)
- ※8 : メッセージ「追っかけ転送先は△△△……(電話番号)です。」が聞こえます。
- ※9 : メッセージ「留守番Xをセットしました。」が聞こえます。(X:1~3)
- ※10 : メッセージ「お知らせXをセットしました。」が聞こえます。(X:1~3)
- ※11 : メッセージ「追っかけXをセットしました。」が聞こえます。(X:1~3)
- ※12 : メッセージ「留守番X(お知らせX、追っかけX)を解除しました。」が聞こえます。(X:1~3)
- ※13 : メッセージ「すべての用件を消去します。しばらくお待ちください。……消去しました。」が聞こえます。
- ※14 : メッセージ「終了します。」が聞こえます。

外線転送

■外線転送の概要について

本システムは、外線からかかってきた電話を外先などの電話に転送する、外線転送機能があります。

- ・転送先が一般外線(特に遠方)の場合、転送先で電話に回答しても、初めの2秒間の通話が途切れる場合があります。
- ・発信元/転送先に使用する回線が共にアナログ回線の場合、設置場所によりご利用できないことがあります。
- ・本機能を使用する場合には、工事設定が必要です。

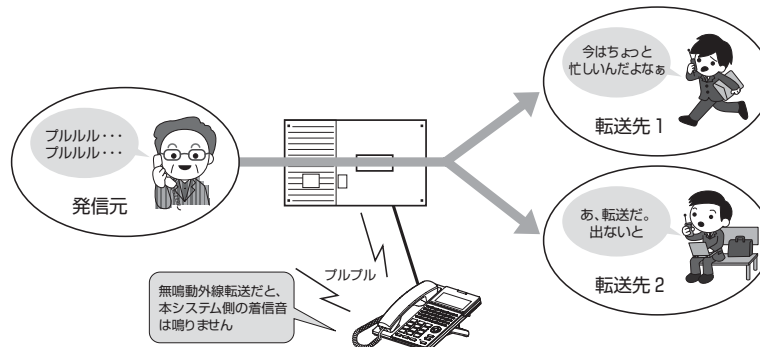
外線自動転送

外線自動転送の転送先電話番号登録は最大8ヶ所、転送セットは4組できます。転送のセット/解除はオートダイヤルに登録してワンタッチで利用するのはもちろん、メニューからも簡単に操作できます。

外線自動転送には、転送先を呼び出し中であっても(外線着信鳴動中)本システムの電話機の手話器を上げると電話をかけてきたお客様と通話ができる「着信鳴動外線転送」と、転送先が回答するまでの間、本システム側の着信音を鳴らさないようにする「無鳴動外線転送」があります。

また、1つの転送につき転送先を2ヶ所までセットし、外線自動転送時に2つの転送先を同時に呼び出す機能を搭載していますので、より確実に転送することができます。

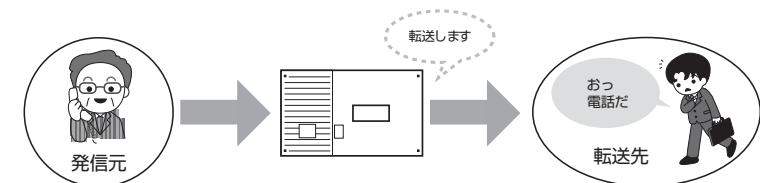
※工事設定により、携帯電話に発信するとき、あらかじめ登録したアクセスコードを自動的に付加して発信することができます。



一次応答付き外線自動転送

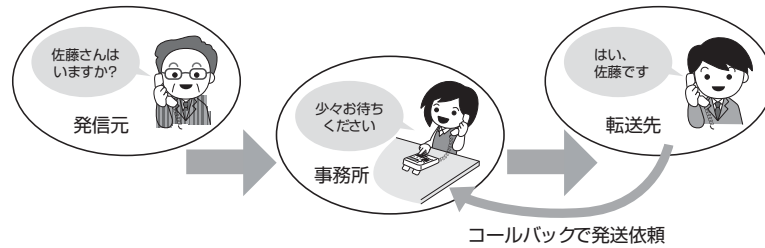
電話をかけてきた相手にメッセージを流しながら、転送先へ自動転送できます。メッセージは固定内蔵メッセージ「ただいま電話を転送いたします。すこしお待ちください」または、ご自身に入れていただいたメッセージが流れます。

※一次応答付き外線自動転送では、転送先は1組のみとなります。



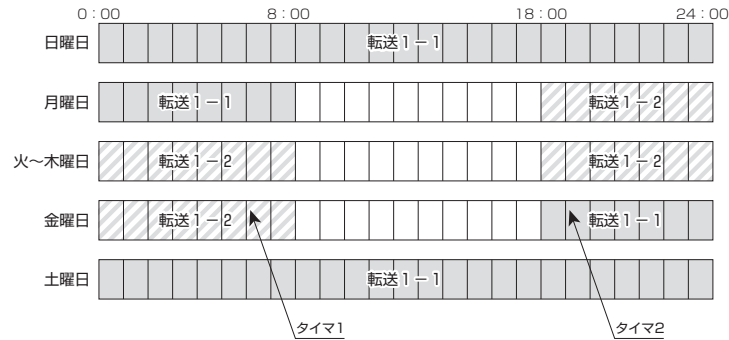
外線手動転送、外線転送コールバック

応答した電話を、空いている回線から転送先を呼び出して転送することが出来ます。
更に、外線転送（手動／自動）の通話が終了後、電話をかけてきた相手（発信元）が先に電話を切った場合、転送先の通話者が電話を切らずにそのまま待っていると、転送先から本システムへの外線着信となり、本システムが呼び出されます。



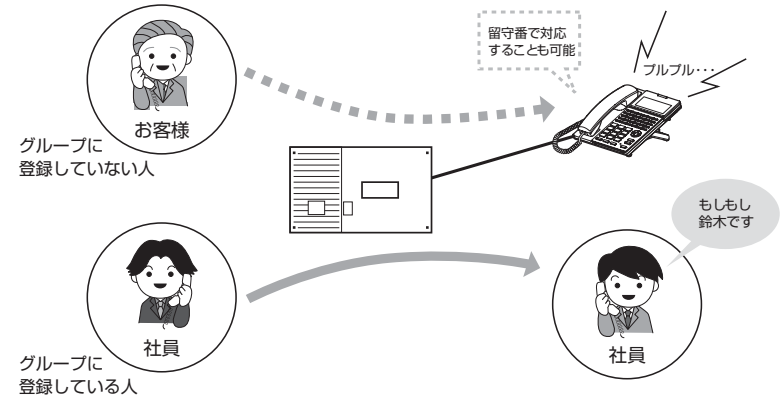
外線転送タイマ連動

あらかじめ設定しておいた時刻になると、自動的に外線自動転送をセット／解除することができます。
タイマは各曜日毎に2個のタイマを設定することができます。
※外線転送タイマ連動は、手動で外線自動転送設定が設定されている場合、外線転送タイマ連動は無効となり、手動での外線自動転送設定で動作します。



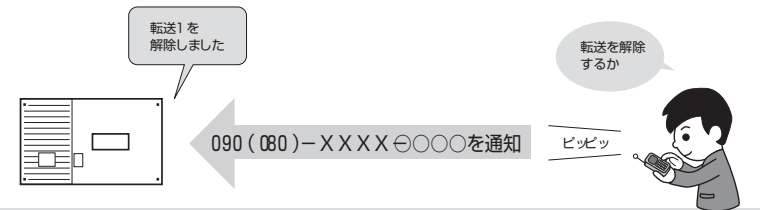
グループ識別着信転送

電話帳に登録されたグループ毎に外線転送するか、しないかを設定することができます。
また、転送させない着信を留守番で応答させることもできます。



外線転送リモコン機能

外出先の電話機から、リモコン操作で外線自動転送セット、または解除したり、転送先電話番号の変更もできます。



外線自動転送失敗時のメール送信について(外線転送不成立メール送信)

外線自動転送が成功しなかった場合、下記の条件により指定メールアドレスにメール送信を行います。
メールアドレスは「外線転送先電話番号」に対し、1件登録することができます。

- ①転送先が応答しなかったケース
- ②転送先呼び出し中に転送元がキャンセルしたケース

●指定メールアドレス編集の詳細については、
サクサ株式会社ホームページ (<http://www.saxa.co.jp>) のWEB設定マニュアルを参照してください。

外線転送

■転送先電話番号の登録（多機能電話機、CL620親機）

転送先は最大8カ所まで登録できます。外線転送をセットする際に、ここで登録した中から転送先をセットすることができます。

登録/変更/消去のしかた

- 1 を押す
- 2 を押して[外線転送関係]を選択し、 を押す
- 3 を押して[外線自動転送先電話番号]を選択し、 を押す
- 4 を押して設定する各外線転送先を選択し、 を押す
- 5 を押して[登録]を選択し、 を押す
- 6 転送先電話番号を入力し、 を押す

- 電話番号は最大24桁まで入力できます。（転送先電話番号の途中にポーズを入れないで下さい。相手につながらないことがあります）
- 入力番号を間違えた場合は[クリア]を押して消去します。

●消去するときは、手順5で[消去]を選択し、 を押す。次の操作で、[はい]を選択し、 を押す。

- 外線転送先1～ 外線転送先8

確認のしかた

- 1 を押す
- 2 を押して[外線転送関係]を選択し、 を押す
- 3 を押して[外線自動転送先電話番号]を選択し、 を押す
- 4 を押して確認する各外線転送先を選択し、 を押す

※外線転送機能をご利用になるには、事前に工事設定が必要です。
(工事設定については、工事店へご依頼願います。)

外線転送

■外線自動転送セット（多機能電話機、CL620親子機、WS600電話機）

登録/変更のしかた

- 1 を押す
●CL620子機の場合は、 を押し、「カレンダー・時計」表示にしてから を押します。
- 2 を押して[外線転送関係]を選択し、 を押す
- 3 を押して[外線自動転送モード]を選択し、 を押す
- 4 を押して設定したい外線自動転送モードを選択し、 を押す
- 5 を押して[登録]を選択し、 を押す
- 6 を押して外線転送先を選択し、 を押す

- 外線転送先1～外線転送先8から最大2カ所まで選択出来ます。（工事設定が必要です）
- 多機能電話機、CL620親機の場合は、外線転送先に選択されると「区」を表示します。選択されていない場合は、「口」になります。 を押すたびに「区」→「口」を繰り返します。
- CL620子機、WS600電話機の場合は、外線転送先に選択されると「O」を表示します。選択されていない場合は、「」になります。 を押すたびに「O」→「」を繰り返します。

- 7 を押す

セット/解除のしかた

- 1 「登録/変更のしかた」の手順1～4と同じ操作を行う
 - 2 を押して[セット/解除]を選択し、 を押す
- セット
- 外線自動転送モードがセットされ、「カレンダー・時計」表示に戻ります。このとき、選択された外線転送モードと転送先を表示します。

[2→2・3]
1 1月 5日(土)
午前 9:00

●解除


- 外線自動転送モードが解除され、「カレンダー・時計」表示に戻ります。

消去のしかた

- 1 「登録/変更のしかた」の手順1～4と同じ操作を行う
- 2 を押して[消去]を選択し、 を押す
- 3 を押して[はい]を選択し、 を押す

■外線手動転送

(多機能電話機、CL620親子機、WS600電話機、DC230電話機)

- | | |
|---|--|
| <p>1 外線通話中</p> <p>2 (保留) を押す</p> <p>3 未使用の(外線)を押す</p> <p>4 転送先電話番号を押す</p> | <p>5 転送先と通話をする</p> <p>6 (手動転送) を押す</p> <p>7 </p> |
|---|--|

■リモコン操作一覧

種 類	リモコン番号	動作内容
自動転送1 セット*1	☒1☒Y (X1~8 転送先1組目) (Y0~8 転送先2組目、 なお2組目を設定しない場 合には"0"とする) (X=Yの設定は禁止)	自動転送1で転送 先X Yをセット
自動転送2 セット*1	☒2☒Y (X1~8 転送先1組目) (Y0~8 転送先2組目、 なお2組目を設定しない場 合には"0"とする) (X=Yの設定は禁止)	自動転送2で転送 先X Yをセット
自動転送3 セット*1	☒3☒Y (X1~8 転送先1組目) (Y0~8 転送先2組目、 なお2組目を設定しない場 合には"0"とする) (X=Yの設定は禁止)	自動転送3で転送 先X Yをセット
自動転送4 セット*1	☒4☒Y (X1~8 転送先1組目) (Y0~8 転送先2組目、 なお2組目を設定しない場 合には"0"とする) (X=Yの設定は禁止)	自動転送4で転送 先X Yをセット
自動転送1解除*2	☒51	自動転送1を解除
自動転送2解除*2	☒52	自動転送2を解除
自動転送3解除*2	☒53	自動転送3を解除
自動転送4解除*2	☒54	自動転送4を解除

*1 メッセージ「外線転送Xをセットしました。リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。(X: 1~4)
 *2 メッセージ「外線転送Xを解除しました。リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。(X: 1~4)

種 類	リモコン番号	動作内容
転送先電 話番号の 登録 (変更)*3	転送先1 ↓ ☒61 ↓ ☒☒ ↓ ☒62	転送先1の電 話番号の登録 (変更)
	↓ ☒☒ ↓ ☒63	転送先2の電 話番号の登録 (変更)
	↓ ☒☒ ↓ ☒64	転送先3の電 話番号の登録 (変更)
	↓ ☒☒ ↓ ☒65	転送先4の電 話番号の登録 (変更)
	↓ ☒☒ ↓ ☒66	転送先5の電 話番号の登録 (変更)
	↓ ☒☒ ↓ ☒67	転送先6の電 話番号の登録 (変更)
	↓ ☒☒ ↓ ☒68	転送先7の電 話番号の登録 (変更)
	↓ ☒☒ ↓ ☒0	転送先8の電 話番号の登録 (変更)
終了		リモコン操作終 了(*0を押さ ないで受話器 を置くとき自動 的に切れます)

*3 メッセージ「転送先Xは△△△……(電話番号)です。
 リモコン番号を入力してください。」が聞こえます。
 (X: 1~8)

AGREA

LT900

AGREA

INDEX

電話機ラインナップ	57
主な仕様	58
システム構成図	59
主装置スロット構成	60
ユニット説明	61
電話機を調整する	62
通話中の内線／外線を転送する	67
サービスメニューを利用する	69
電話機に機能を登録する	71
留守番機能／留守番モード	82

電話機ラインナップ

電話機ラインナップ

- 2色 (オレンジ、グリーン)
バックライト搭載
- カラー: ホワイト
- 30ボタン



LD920 電話機

- バックライトなし
- カラー: ホワイト
- 30ボタン



TD920 電話機

- バックライトなし
- カラー: ホワイト
- 18ボタン



TD910 電話機

- バックライト搭載
- カラー: シルバー



PS601
システムコードレス電話機

- CS600: システムコードレス基地局
- PS600: システムコードレス電話機
- カラー: CS600: ホワイト、PS600: シルバー



CS600
システムコードレス基地局

- 2色 (オレンジ、グリーン)
バックライト搭載
- カラー: ホワイト
- 30ボタン



CL920 電話機
Bluetoothスカルコードレス電話機

主な仕様

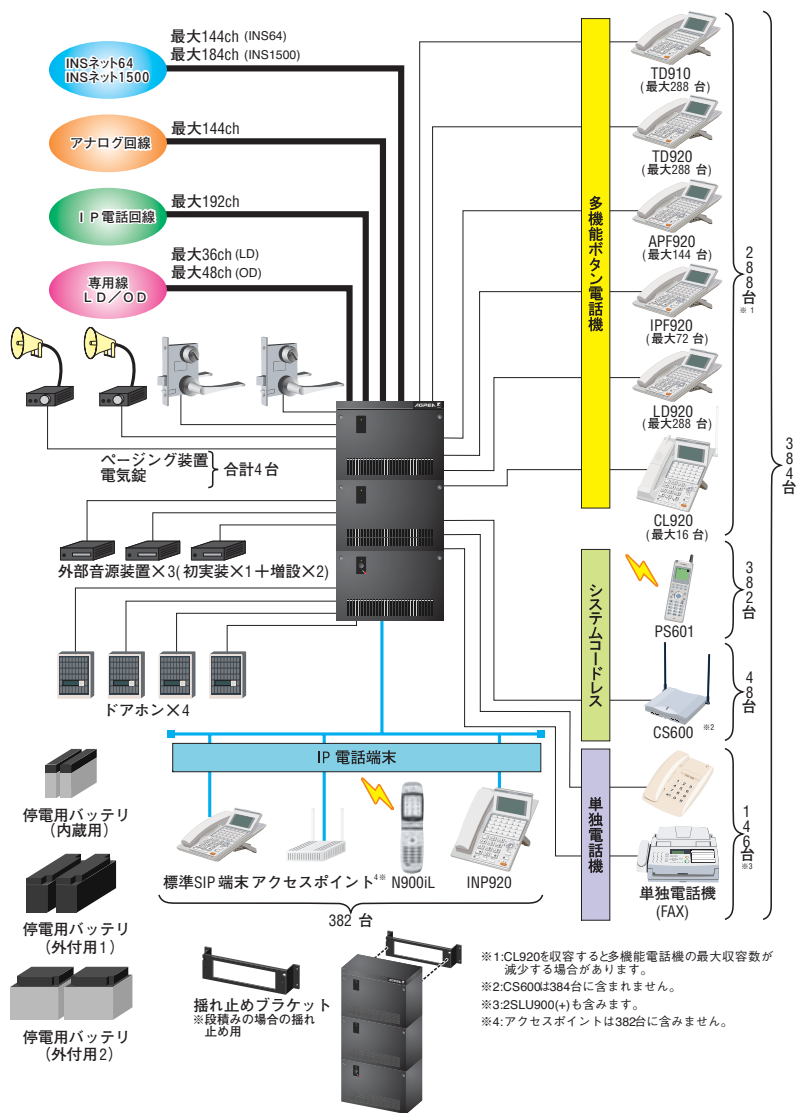
■システム

項目	構成	主装置1段	主装置2段	主装置3段	最大収容数	
外線	INSネット64	最大24回線 (48ch)	最大48回線 (96ch)	最大72回線 (144ch)	192ch 合わせて 384ch	
	INSネット1500	最大4回線 (92ch)	最大7回線 (161ch)	最大8回線 (184ch)		
	アナログ回線	最大48回線	最大96回線	最大144回線		
	IP回線 (IPGW900・IPAD900接続時) ^{*1}	最大112ch	最大192ch			
	IP回線 (8IPGW900接続時)	最大32ch				
	OD専用線	最大16回線	最大32回線	最大48回線		
	LD専用線	最大12回線	最大24回線	最大36回線		
内線	多機能電話機	最大96台	最大192台	最大288台	384台	
	システムコードレス (PS601)	最大382台				
	カールコードレス電話機 (CL920)	最大16台 ^{*2}				
	単独電話機 (アナログボート含む)	最大50台	最大98台	最大146台		
	IP電話機 (無線IP端末、IPGW900・IPAD900接続時)	最大382台				
その他	システムコードレス基地局	最大16台	最大32台	最大48台	48台	
	VoIP同時通話ch ^{*1}	最大112ch	最大196ch	最大280ch	280ch	
	ドアホン	最大4台 (同時通話最大2通話)			4台	
サイズ (mm) 幅× 奥行× 高さ・ 質量	主装置 (天板付き)	約420×281 ×316、15kg (フル実装時)	約420×281 ×627、29kg (フル実装時)	約420×281 ×908、43kg (フル実装時)		
	TD920電話機	約180×236×83、約920g				
	TD910電話機	約180×236×83、約900g				
	LD920電話機	約180×236×83、約920g				
	INP920電話機	約180×236×83、約930g				
	APF/IPF電話機	約180×236×83、約1,000g				
	CL920電話機	子機	約51×38×185 (アンテナ除く)、約180g			
		親機+子機	約180×236×88 (アンテナ除く)、約910g			
	PS601電話機	約45×21×140 (アンテナ除く)、約95g				
	CS600基地局	約146×136×41.5、約350g				

※1: 使用するルータやその他条件により利用できるch数に制限があります。

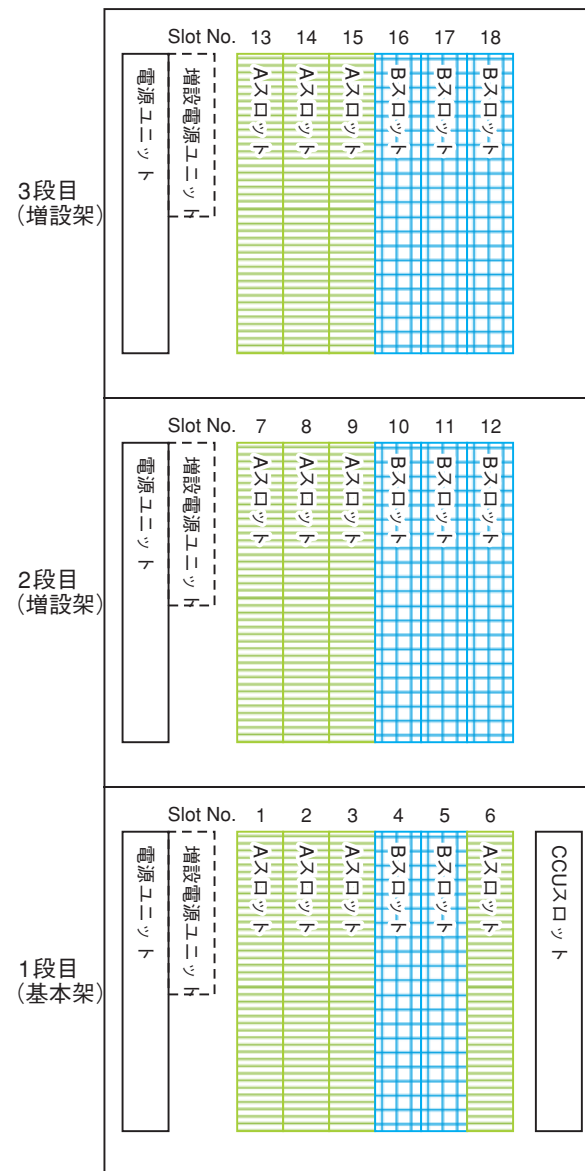
※2: KLC 1枚につき最大8台まで接続可能です。また、CL920電話機の最大収容数は、多機能電話機の最大収容数に含まれます。CL920電話機収容数により多機能電話機等最大収容数も減少します。

システム構成図



主装置スロット構成

スロット構成は、下図のとおりです。それぞれの架には、Aスロット (32ch以下仕様)、Bスロット (16ch以下仕様) がそれぞれ3スロットずつあります。



※ISDN回線を収容する場合は、1段目のSlot6から収容してください。(同期用)

ユニット説明

ユニット名称	係数	接続スロット	機能概要	最大収容数		
				1段	2段	3段
CCU900	—	CCUスロット	主制御ユニット	1		
SUB900(+)	—	CCU900に接続	副制御ユニット。増設架使用時に使用。	1		
MPW900(+)	—	電源ユニットに接続	電源増設ユニット。1架あたり49台以上の電話機が接続されるときに必要。*1	1	1	1
IPGW900	9	Aスロット	ルータなしマルチキャリア対応VoIPユニット。28チャンネルまで利用可能。IP電話サービスとIP電話を利用することができます。利用できるIP電話サービスは、FUSION IP-Phone、OCNドットフォンオフィス、KDDI-IPフォン。	1		
IPR900(+)	—	IPGW900に接続	ブロードバンドルータユニット。	1		
IPAD900	3	Aスロット	VoIPのチャンネル増設ユニット。1枚で28チャンネル増設可能。	3	6	9
8IPGW900	—	A/Bスロット	ルータなしマルチキャリア対応VoIPユニット。8チャンネルまで利用可能。利用できるIP電話サービスは、FUSION-Phone、KDDI-IPフォン。	4		
2BRI900	—	A/Bスロット	デジタル回線を2回線収容するユニット。	6	12	18
4BRI900	—	A/Bスロット	デジタル回線を4回線収容するユニット。	6	12	18
8CO900	—	A/Bスロット	アナログ回線を8回線収容するユニット。	6	12	18
KC090-PRTL	—	Aスロット	INSネット1500を収容するユニット。	4	7	8
KC090A-4ODTE	—	A/Bスロット	OD専用線を収容するユニット。	4	8	12
ZA-2LDT-LA	—	A/Bスロット	LD専用線を収容するユニット。	6	12	18
8KLC900/901	16	A/Bスロット	内線電話機を8台収容するユニット。CL920を収容するにはKLC901が必要です。	6	12	18
16KLC900/901	32	A/Bスロット	内線電話機を16台収容するユニット。CL920を収容するにはKLC901が必要です。	6	12	18
24KLC900/901	48	Aスロット	内線電話機を24台収容するユニット。CL920を収容するにはKLC901が必要です。	4	7	10
EPW900(+)	—	KLC900/901に接続	KLC900/901の配線距離を延長するユニット。各KL900/901の8台分を延長します。	—		
2SLU900(+)	—	CCU900に接続	単独電話機を2台収容するユニット。	1		
8SLI900	14	A/Bスロット	単独電話機を8台収容するユニット。	6	12	18
AZ-2LLC-LA	7	A/Bスロット	単独電話機の配線を延長するユニット。	6	12	18
2CDLC900	6	A/Bスロット	CS600を2台収容するユニット。	6	12	18
4CDLC900	11	A/Bスロット	CS600を4台収容するユニット。	4	8	12
DRPG900	—	A/Bスロット	ドアホン4台、ページング1台、外部保留音源1台を収容するユニット。ドアホンを収容するには、2DR900(+)*1が必要です。DRPG910と排他です。	1		
DRPG910	—	A/Bスロット	ドアホン4台、ページング4台、外部保留音源2台を収容するユニット。ドアホンを収容するには、2DR900(+)*1が必要です。DRPG910と排他です。	1		
ZDR900(+)	—	DRPG900/910に接続	ドアホン2台を収容するユニット。	2		

*1:1架に収容されているユニット毎に上表の係数を足して、合計が96を超える場合は、48台以下でもMPW900(+)*1が必要になります。
CL920を収容する場合は、KLC901の係数を次のように算出します。(6×CL920の台数)+KLC901の係数

電話機を調整する

■日付け・時刻をあわせる（管理用電話機にて設定）

▽操作のしかた

- 1 を押す
- 2 を押し [その他設定] を選択し、
 を押す
- 3 を押し [カレンダー/時計設定] を
選択し、 を押す
- 4 を押し [日時変更] を選択し、
 を押す
- 5 を押し [年月日、時分] を押す
- 6 を押し
- 7 を押し

■保留メロディを変更する（管理用電話機にて設定）

▽操作のしかた

- 1 を押す
- 2 を押し [その他設定] を選択し、
 を押す
- 3 を押し [音関連] を選択し、
 を押す
- 4 を押し [Xディレクトリ] を選択し、
 を押す
- 5 を押し [保留Xディレクトリ] を選択し、
 を押す
- 6 を押し保留メロディ（10種類）
とユーザーメロディ（4種類）から
1曲選択し、 を押す
- 7 試聴する場合は、 を押し [試聴]
を選択し、 を押す
- 8 を押し [設定] を選択し、
を押す
- 9 を押し

【保留メロディー一覧】

No.	保留メロディ	No.	保留メロディ	No.	保留メロディ
1	愛の挨拶	6	花	11	ユーザーメロディ 1
2	さくら	7	世界に一つだけの花	12	ユーザーメロディ 2
3	夏を抱きしめて	8	ニューヨークシティ セレナーデ	13	ユーザーメロディ 3
4	秋桜	9	組曲「惑星」の木星	14	ユーザーメロディ 4
5	Everything	10	カノン		

電話機を調整する

■着信の音色を選択する

電話機ごとに内線別着信または外線別着信の着信音の音色を選択することができます。

≡ 操作のしかた

- 1 を押す
- 2 を押し [その他設定] を選択し、
 を押す
- 3 を押し [音関連] を選択し、
 を押す
- 4 を押し [内線別着信音種] または [外線別着信音種] を選択し、
 を押す
 - システム管理電話機から「内線別着信音種」を選択した場合は、操作5へ進みます。
 - システム管理電話機以外から「内線別着信音種」を選択した場合は、操作7へ進みます。
 - システム管理電話機から「外線別着信音種」を選択した場合は、操作6へ進みます。
- 5 を押し内線番号を選択し、 を押す
- 6 を押し外線番号を選択し、 を押す
- 7 を押し、音種を選択し、 を押す
- 8 を押し、詳細情報を選択し、
 を押す
- 9 試聴する場合は、 を押し [試聴] を選択し、 を押す
- 10 を押し [設定] を選択し、 を押す
- 11 を押す

■ディスプレイのバックライトを設定する (バックライト付き標準電話機)

≡ 操作のしかた

- 1 を押す
- 2 を押し [その他設定] を選択し、
 を押す
- 3 を押し [表示の設定] を選択し、
 を押す
- 4 を押し [バックライト設定] を選択し、
 を押す
- 5 を押し [バック色設定] を選択し、
 を押す
- 6 を押し、バックライトの色を選択し、 を押す
 - 「グリーン」、「オレンジ」から選択します。
- 7 を押し [消灯時間登録] を選択し、
 を押す
- 8 を押し、バックライトの消灯時間を選択し、 を押す
 - 「常時消灯」、「常時点灯」、「即時消灯」、「無操作5秒間保持」、「無操作10秒間保持」、「無操作30秒間保持」から選択します。
- 9 を押す

電話機を調整する

■受話音量を調節する (3段階)

≡ 操作のしかた

- 1 を押す
- 2 を押し [その他設定] を選択し、
 を押す
- 3 を押し [音関連] を選択し、
 を押す
- 4 を押し [受話音量] を選択し、
 を押す
- 5 を押し、音量を調整する
- 6 を押す
- 7 を押す

■スピーカ音量を調節する (8段階) (標準電話機/カールコードレス電話機)

≡ 操作のしかた

- 1 スピーカ受話中に を押す
- 2 音量を調節する

■マイク音量を調節する (3段階)

≡ 操作のしかた

- 1 を押す
- 2 を押し [その他設定] を選択し、
 を押す
- 3 を押し [音関連] を選択し、
 を押す
- 4 を押し [マイク音量] を選択し、
 を押す
- 5 を押し、音量を調整する
- 6 を押す
- 7 を押す

電話機を調整する

■着信の音量を調節する（3段階）（標準電話機）

≡ 操作のしかた

- | | |
|---|---|
| <p>1 を押す</p> <p>2 を押し [その他設定] を選択し、
 を押す</p> <p>3 を押し [音関連] を選択し、
 を押す</p> <p>4 を押し [着信音量] を選択し、
 を押す</p> | <p>5 を押し、音量を調整する</p> <p>6 を押す</p> <p>7 を押す</p> |
|---|---|

■側音量を調節する（2段階）

≡ 操作のしかた

- | | |
|--|---|
| <p>1 を押す</p> <p>2 を押し [その他設定] を選択し、
 を押す</p> <p>3 を押し [音関連] を選択し、
 を押す</p> <p>4 を押し [側音量] を選択し、
 を押す</p> | <p>5 を押し、音量を調整する</p> <p>6 を押す</p> <p>7 を押す</p> |
|--|---|

電話機を調整する

■ディスプレイの濃淡を調節する（8段階）（標準電話機）

≡ 操作のしかた

- | | |
|--|--|
| <p>1 を押す</p> <p>2 を押し [その他設定] を選択し、
 を押す</p> <p>3 を押し [表示の設定] を選択し、
 を押す</p> <p>4 を押し [LCDコントラスト調整] を選
択し、 を押す</p> | <p>5 を押し、LCDコントラストを調節する</p> <p>6 を押す</p> <p>7 を押す</p> |
|--|--|

■ボタン押下音を切り替える（有・無の切り替え）（標準電話機）

≡ 操作のしかた

- | | |
|---|---|
| <p>1 を押す</p> <p>2 を押し [その他設定] を選択し、
 を押す</p> <p>3 を押し [音関連] を選択し、
 を押す</p> | <p>4 を押し [ホウの押下音] を選択し、
 を押す</p> <p>5 を押し、[有り] または、[無し]
を選択し、 を押す</p> <p>6 を押す</p> |
|---|---|

通話中の内線／外線を転送する




■通話中の外線を内線に転送する

1 転送先に呼びかけて転送する（口頭転送）




外線を保留してから転送先に呼びかけます。

👉 操作のしかた

<転送する側の操作>

- 1 外線通話中の相手に転送することを伝える
- 2  を押す
- 3 
 - 転送先に呼びかけます。
 - たとえば、「田中さん、5番にお電話です。」と呼びかけます。
- 4 

<転送される側の操作>

- 1 呼びかけられた人が 
- 2 点滅している  を押す
- 3 通話が終了したら 



2 ダイヤルして転送する（ダイヤル転送）

転送先の内線番号をダイヤルして転送します。

※この機能をご利用になるには、データ設定が必要です。
（販売店にご相談ください。）

👉 操作のしかた

<転送する側の操作>

- 1 通話中の相手に転送することを伝える
- 2  を押す
- 3 転送先の内線番号を押す
- 4 転送先に用件を伝える
- 5 

<転送される側の操作>

- 1 
- 2 
- 3 通話が終了したら 

通話中の内線／外線を転送する





■通話中の外線を内線に転送する

3 内線ワンタッチダイヤルボタンで転送する（内線ワンタッチダイヤルボタン転送）

※この機能をご利用になるには、データ設定が必要です。
（販売店にご相談ください。）

👉 操作のしかた

<転送する側の操作>

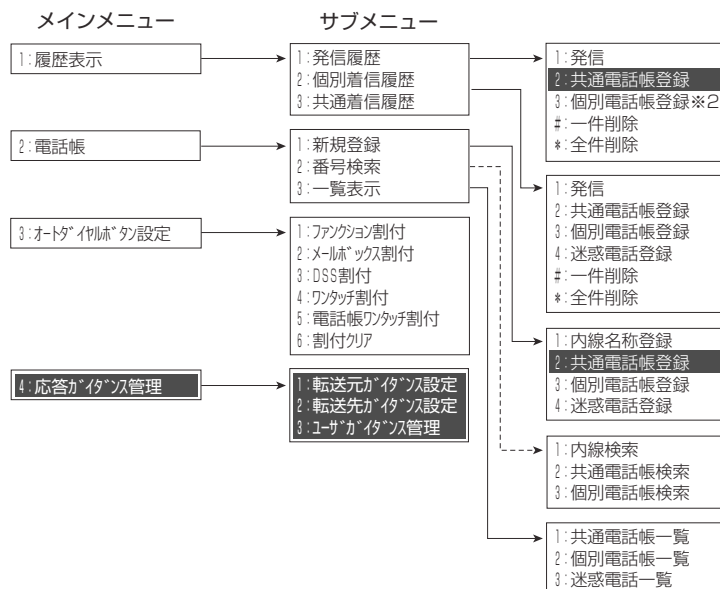
- 1  通話中の相手に転送することを伝える
- 2  を押す
- 3  転送先に用件を伝える
- 4 

<転送される側の操作>

「2 ダイヤルして転送する」の<転送される側の操作>と同じです。

サービスメニューを利用する

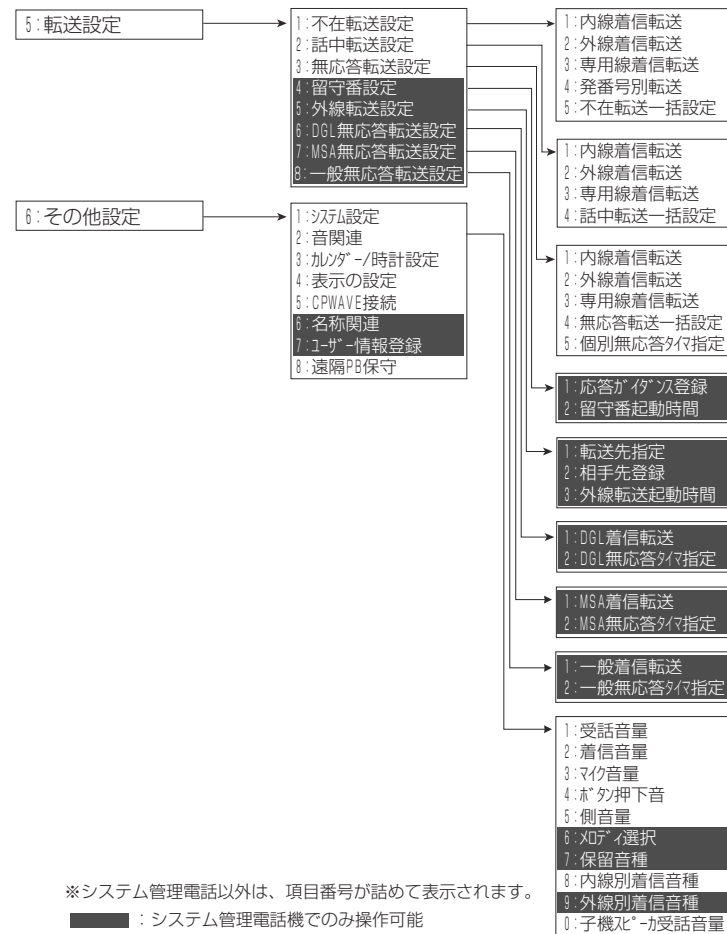
■メニュー項目について (1)



注: ----> は、サブメニューから短縮No、カナ等検索後の操作を示します。
 ※システム管理電話以外は、項目番号が詰めて表示されます。
 ■ : システム管理電話機でのみ操作可能
 ※2 V1.4以降の機能になります。

サービスメニューを利用する

■メニュー項目について (2)



※システム管理電話以外は、項目番号が詰めて表示されます。
 ■ : システム管理電話機でのみ操作可能

電話機に機能を登録する

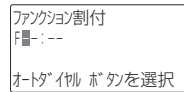
■オートダイヤルボタンに機能を登録する

🔍 操作のしかた

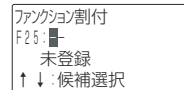
1 を押す

2 を押し [オートダイヤル設定] を選択し、 を押す

3 を押し [ファンクション割付] を選択し、 を押す

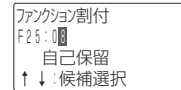


4 機能を登録する を押す



● 例えば、25番のボタンを押した場合です。

5 機能番号を「オートダイヤルボタン機能一覧表」から選んで入力する



● 例えば、自己保留であれば、ファンクション番号 を押します。

6 を押す

7 詳細情報を入力する

8 を押す

9 を押す

■登録を削除する

🔍 操作のしかた

1 を押す

2 を押し [オートダイヤル設定] を選択し、 を押す

3 を押し [割付クリア] を選択し、 を押す

4 削除する を押す

5 を押す

6 を押す

電話機に機能を登録する

■オートダイヤルボタン機能一覧表

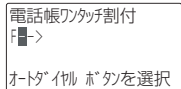
No.	機能	ディスプレイ表示	参照頁
01	リダイヤル	リダイヤル	
02	電話帳	電話帳	
03	代理応答	代理応答	
04	指定代理応答	指定代理応答	
05	夜間切替	夜間切替	
06	クラス切替	クラス切替	
07	手動転送	手動転送	
08	自己保留	自己保留	
09	着信ウェイト	着信ウェイト	
10	留守番	留守番	
12	不在	不在	
13	通話表示	通話表示	
14	秘話解除/会議	秘話解除/会議	
16	通話モニタ	通話モニタ	
17	PB信号	PB信号	
18	キーパッド	キーパッド	
19	フッキング	フッキング	
20	外線発信	外線発信	
21	キャリア選択	キャリア選択	
22	ACR停止	ACR停止	
23	発番号通知/非通知	発番号通知/非通知	
25	個別アラーム	個別アラーム	
26	着信表示	着信表示	

No.	機能	ディスプレイ表示	参照頁
29	通話録音	通話録音	
30	メールアクセス	メールアクセス	
31	録音終了	録音終了	
34	停電	停電	
35	拡張表示	拡張表示	
36	着信拒否	着信拒否	
37	回線制限	回線制限	
38	外線転送	外線転送	
49	マイク	マイク	

電話機に機能を登録する

■オートダイヤルボタンに電話帳メモリ番号を登録する

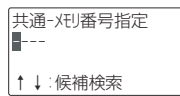
操作のしかた

- 1 を押す
- 2 を押し [オートダイヤルホック設定] を選択し、 を押す
- 3 を押し [電話帳ワンタッチ割付] を選択し、 を押す

- 4 電話帳メモリ番号を登録する を押す
- 5 を押す

■登録を削除する

操作のしかた

- 1 を押す
- 2 を押し [オートダイヤルホック設定] を選択し、 を押す
- 3 を押し [割付クリア] を選択し、 を押す

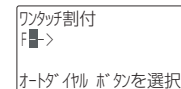
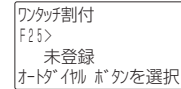
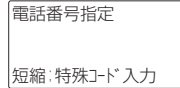
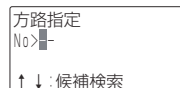
- 6 を押し [共通電話帳] または [個別電話帳] を選択し、 を押す
 ※表示例は、共通電話帳を示します。
- 7 登録する電話帳メモリ番号を4桁で入力する
- 8 を押す
- 9 を押す

- 4 削除する を押す
- 5 を押す
- 6 を押す

電話機に機能を登録する

■オートダイヤルボタンに外線番号/内線番号を登録する

操作のしかた

- 1 を押す
- 2 を押し [オートダイヤルホック設定] を選択し、 を押す
- 3 を押し [ワンタッチ割付] を選択し、 を押す

- 4 登録する を押す

 - 例えば、上段の1番左側のボタンを押した場合です。
- 5 を押す
- 6 登録する電話番号を入力する

- 7 を押す
- 8 を押し発信種別を選択し、 を押す
- 9 方路番号 (00~63) を押す

- 10 を押す
- 11 を押す

■登録を削除する

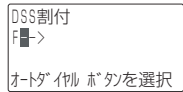
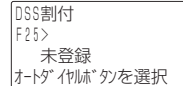
操作のしかた

- 1 を押す
- 2 を押し [オートダイヤルホック設定] を選択し、 を押す
- 3 を押し [割付クリア] を選択し、 を押す
- 4 削除する を押す
- 5 を押す
- 6 を押す

電話機に機能を登録する

■オートダイヤルボタンにDSSボタンを登録する

🔍 操作のしかた

- 1 **確定** を押す
- 2 **ダイヤル** を押し [オートダイヤル設定] を選択し、**確定** を押す
- 3 **ダイヤル** を押し [DSS割付] を選択し、**確定** を押す

- 4 内線番号を登録する **オートダイヤル** を押す

 - 例えば、25番のボタンを押した場合です。

- 5 **確定** を押す

- 6 登録する内線番号を入力する

- 7 **確定** を押す
- 8 **スピーカ** を押す

■登録を削除する

🔍 操作のしかた

- 1 **確定** を押す
- 2 **ダイヤル** を押し [オートダイヤル設定] を選択し、**確定** を押す
- 3 **ダイヤル** を押し [割付削除] を選択し、**確定** を押す
- 4 削除する **オートダイヤル** を押す
- 5 **確定** を押す
- 6 **スピーカ** を押す

電話機に機能を登録する

■特番を設定する（工事設定）

特番の種類	初期設定
内線番号	1000~2999
専用線閉番号	—
拡張内線番号	—
回線捕捉	0 (方路00)
外線発信	—
キャリア選択	—
指定外線捕捉	8 3
指定MSA捕捉	—
リダイヤル	8 0
共通電話帳	6
個別電話帳	—
ACR停止	9 6
パーク保留/応答	—
自テナント代理応答	8 1
自テナントGrp代理応答	—
テナント指定代理応答	—
最終保留応答	* 2

特番の種類	初期設定
通話中着信	—
フッキング送出	—
会議	—
内線割り込み通話	—
グループ音声呼出	* 0
グループ信号呼出	* 1
グループ呼出応答	# 0
放送アクセス	* 9
放送応答	# 9
DGLグループ呼出	—
メールアクセス	7 1
ドアホンアクセス	—
MSAグループ呼出	—
PB保守	9 2
共通着信履歴	—
個別着信履歴	—

電話機に機能を登録する

■電話帳を登録する (1)

共通電話帳登録は、管理電話機から行います。

(登録のしかた)

登録のしかたは、次のように大きく分けて3つになります。必要に応じて入力してください。

1: 基本登録 (必須項目)	電話帳メモリ番号と相手先の電話番号を入力します。
2: 相手先名称登録	相手名称 (漢字) と相手名称 (カナ) を入力します。
3: 付加情報登録	発番号表示、発番号別着信または、発番号別着信音させるために必要な項目の入力を行います。

1: 基本登録 (必須項目)

📌 操作のしかた

- 1 を押す
- 2 を押し [電話帳] を選択し、
 を押す
- 3 を押し [新規登録] を選択し、
 を押す
- 4 を押し [共通電話帳登録] または [個別電話帳登録] から選択し、
 を押す
- 5 設定する対象の内線番号を入力し、
 を押す
- 6 空いているメモリ番号の若番を表示する
- 7 を押し、メモリ番号を選択する

- 8 電話帳メモリ番号を選択したら、
 を押す
- 9 を押し [Tel No] を選択し、
 を押す
- 10 登録する電話番号を入力する
- 11 を押す
- 12 を押し [登録] を選択し、
 を押す
- 13 を押す

電話機に機能を登録する

■電話帳を登録する (2)

2: 相手先名称登録

相手先名称を登録する場合は、(1: 基本登録) の操作11の次に入力します。

📌 操作のしかた

- 1 を押し [名前] を選択し、
 を押す
- 2 文字を入力する
- 3 を押す
- 4 を押し [カナ] を選択し、
 を押す
- 5 文字を修正する
- 6 修正が終了したら、
 を押す
- 7 を押し [登録] を選択し、
 を押す
- 8 を押す

電話機に機能を登録する

■電話帳を登録する (3)

3：付加情報登録

付加情報は、グループ、着信音、屋着信形式、夜1着信形式、夜2着信形式を登録します。(1：基本登録)の操作9の次、または(2：相手先名称登録)の操作6の次に必要な項目の入力をします。

🔍 操作のしかた

●グループ

- 1 を押し [グループ] を選択し、 を押し
 - 2 を押し [グループ (0~9)] のいずれかを選択し、 を押し
- ##### ●着信音
- 3 を押し [着信音] を選択し、 を押し
 - 4 着信音を選択し、 を押し
 - 5 を押し [トーン (1~10)] のいずれかを選択し、 を押し
 - 6 試聴する場合は、 を押し [試聴] を選択し、 を押し
 - 7 を押し [設定] を選択し、 を押し
 - 8 を押しメロディを選択し、 を押し
 - 9 試聴する場合は、 を押し [試聴] を選択し、 を押し

- 10 を押し [設定] を選択し、 を押し
 - 11 を押し [外部音源 (1~3)] のいずれかを選択し、 を押し
 - 12 試聴する場合は、 を押し [試聴] を選択し、 を押し
 - 13 を押し [設定] を選択し、 を押し
- ##### ●昼/夜1/夜2着信形式
- 14 を押し、昼夜の着信形式を選択し、 を押し
 - 「昼着信形式」「夜1着信形式」「夜2着信形式」から選択します。
 - 15 を押し、着信形式を選択し、 を押し
 - 「無し」「内線」「DGLグループ」「MSAグループ」「専用線閉番号」「付加番号DID」「メールボックス着信代行」「遠隔PB保守」「一般着信」から選択します。
 - 16 着信先番号を入力する
 - 17 を押し
 - 18 を押し [登録] を選択し、 を押し
 - 19 を押し

電話機に機能を登録する

■電話帳の内容を変更する

🔍 操作のしかた

- 1 を押し
- 2 を押し [電話帳] を選択し、 を押し
- 3 を押し [番号検索] を選択し、 を押し
- 4 を押し [共通電話帳検索] または [個別電話帳検索] から選択し、 を押し
- 5 を押し [XFL番号検索] または [カナ検索] を選択し、 を押し
- 6 検索する対象の内線番号を入力し、 を押し
- 7 XFL番号検索の場合はメモリ番号を1~4桁入力して検索、カナ検索の場合はカナの先頭から1~5文字押して検索し、 を押し
- 8 を押し、 を押し [内容変更] を選択し、 を押し
- 9 で変更する内容を選択し、 を押し
- 10 文字または番号を変更する
- 11 変更が終わったら、 を押し
- 12 を押し [登録] を選択し、 を押し
- 13 を押し [上書きする] を選択し、 を押し
- 14 を押し

電話機に機能を登録する

■電話帳の内容を削除する

※操作のしかた

- 1 を押す
- 2 を押し [電話帳] を選択し、
 を押す
- 3 を押し [番号検索] を選択し、
 を押す
- 4 を押し [共通電話帳検索] または
[個別電話帳検索] から選択し、
 を押す
- 5 を押し [メモ番号検索] または
[カナ検索] を選択し、 を押す
- 6 検索する対象の内線番号を入力し、
 を押す
- 7 を押し [メモ番号検索] の場合はメモ番号を
1~4桁押しして検索、カナ検索の場
合はカナの先頭から1~5文字押し
て検索し、 を押す
- 8 を押し [登録削除] を選択
し、 を押す
- 9 を押し [一件削除] または [全
件削除] を選択し、 を押す
- 10 を押す

■発信履歴／着信履歴を電話帳に登録する（管理用電話機にて登録）

※操作のしかた

- 1 発信履歴の場合は を、着信履歴
の場合は を押す
- 2 で登録する電話番号を検索し、
 を押す
- 3 を押し [共通電話帳登録] また
は [個別電話帳登録] を選択し、
 を押す
- 4 ここからの操作は、「■電話帳を
登録する」の操作4以降の操作とな
ります。

```

発信履歴 No:01
1/01 <土> am 1:30
0123456789
鈴木一郎
    
```

留守番機能／留守番モード

■留守番の応答内容を登録する（1）

留守番応答したときに、時間帯別にガイダンスを送出することができます。
「平日」、「休日」、「祝祭日」ごと、時間帯別にそれぞれ最大4種類のガイダンスを設定することができます。
また、ガイダンス送出後に、録音する／しないの設定もすることができます。
※設定はシステム電話機から行います。

<ガイダンスの時間帯を指定する>

留守番モードになる時間帯を設定します。

※操作のしかた

- 1 を押す
- 2 を押し [転送設定] を選択し、
 を押す
- 3 を押し [留守番設定] を選択し、
 を押す
- 4 テナント番号（00~31）を入力し、
 を押す
- 5 を押し [応答ガイダンス登録] を
選択し、 を押す
- 6 を押し、ガイダンスの種類を選
択し、 を押す
 - 「平日ガイダンス」「休日ガイダンス」「祝祭日ガイダンス」「休日個別登録」「祝祭日個別登録」から選択します。
 - 「休日ガイダンス」または「祝祭日ガイダンス」を選択した場合は、操作7へ進みます。
 - 「平日ガイダンス」「休日個別登録」または「祝祭日個別登録」を選択した場合は、操作8へ進みます。
 - 設定を終了させる場合は、操作12へ進みます。
- 7 を押し、「平日に従う」「個別登
録に従う」から選択し、 を押す
 - 操作6に戻ります。
- 8 を押し、時間帯を選択し、
を押す
 - 「時間帯（1~3）」「消去」から選択します。
 - 「時間帯（1~3）」を選択した場合は、操作10へ進みます。
 - 「消去」を選択した場合は、操作9へ進みます。
- 9 を押し、時間帯を選択し、
を押す
 - 「時間帯（1~3）」から選択し、操作12へ進みます。
- 10 を押し、[時間帯指定]を選択し、
 を押す
- 11 時間帯を入力し、 を押す

時間帯指定 No:01
 --時一分から
 --時--分まで
 <00:00~24:00>
- 12 を押す

■留守番の応答内容を登録する (2)

<ガイダンス種別を指定する>

留守を起動する時間帯のガイダンス種別を設定します。

▼操作のしかた

- 1 を押す
- 2 を押し [転送設定] を選択し、 を押す
- 3 を押し [留守番設定] を選択し、 を押す
- 4 テナント番号 (00~31) を入力し、 を押す
- 5 を押し [応答ガイダンス登録] を選択し、 を押す
- 6 を押し、ガイダンスの種類を選択し、 を押す
 - 「平日ガイダンス」「休日ガイダンス」「祝祭日ガイダンス」「休日個別登録」「祝祭日個別登録」から選択します。
 - 「平日ガイダンス」または「祝祭日ガイダンス」を選択した場合は、操作7へ進みます。
 - 「平日ガイダンス」「休日個別登録」または「祝祭日個別登録」を選択した場合は、操作8へ進みます。
 - 設定を終了させる場合は、操作12へ進みます。
- 7 を押し、「平日に従う」「個別登録に従う」から選択し、 を押す
 - 操作6に戻ります。
- 8 を押し、時間帯を選択し、 を押す
 - 「時間帯(1~3)」「指定時間外」から選択します。
- 9 を押し [ガイダンス選択] を選択し、 を押す
- 10 を押し、[固定ガイダンス] または [ユーザガイダンス] を選択し、 を押す
 - 「固定ガイダンス」を選択した場合は、操作12へ進みます。
 - 「ユーザガイダンス」を選択した場合は、操作11へ進みます。なお、あらかじめ「ユーザガイダンス録音」されていないと選択することはできません。(録音方法は「ユーザガイダンスを録音する」(P.135) を参照してください。)
- 11 ガイダンス番号 (01~64) を押し、 を押す
- 12 を押す

■留守番の応答内容を登録する (3)

<留守番動作を指定する>

留守番動作 (メッセージ録音有り/メッセージ録音無し/転送無し<着信>) を設定します。

▼操作のしかた

- 1 を押す
- 2 を押し [転送設定] を選択し、 を押す
- 5 を押し [応答ガイダンス登録] を選択し、 を押す
- 6 を押し、ガイダンスの種類を選択し、 を押す
 - 「平日ガイダンス」「休日ガイダンス」「祝祭日ガイダンス」「休日個別登録」「祝祭日個別登録」から選択します。
 - 「平日ガイダンス」または「祝祭日ガイダンス」を選択した場合は、操作7へ進みます。
 - 「平日ガイダンス」「休日個別登録」または「祝祭日個別登録」を選択した場合は、操作8へ進みます。
- 7 を押し、「平日に従う」「個別登録に従う」から選択し、 を押す
 - 操作6に戻ります。
- 8 を押し、時間帯を選択し、 を押す
 - 「時間帯(1~3)」「指定時間外」から選択します。
- 3 を押し [留守番設定] を選択し、 を押す
- 4 テナント番号 (00~31) を入力し、 を押す
- 9 を押し [留守動作選択] を選択し、 を押す
 - 留守番グループA (初期値) のみの場合は、操作11へ進みます。
- 10 を押し留守番グループを選択し、 を押す
 - 「グループA~D」から選択します。
- 11 を押し [録音有り] [録音無し] [転送無し<着信>] から選択し、 を押す
- 12 を押す

<留守番モードにする>

▼操作のしかた

受話器をおいたまま操作します。

- 1 を押す
 - 設定された場合は「ピー」と鳴ります。
 - 留守番ランプは赤点灯します。

<留守番モードを解除する>

▼操作のしかた

受話器をおいたまま操作します。

- 1 を押す
 - 解除された場合は「ピー」と鳴ります。
 - 留守番ランプは消灯します。

■外線転送を登録する(1)

相手先電話番号を4件登録することができます。

相手先電話番号を転送先(最大で4箇所)に登録します。

転送先を指定した「外線転送」をONすることで、外線転送モードが起動します。

※登録はシステム管理電話機から行います。

<相手先電話番号を登録する>

相手先の電話番号を登録します。

≡ 操作のしかた

- 1 を押す
- 2 を押し [転送設定] を選択し、
 を押す
- 3 を押し [外線転送設定] を選択し、
 を押す
- 4 テナント番号(00~31)を入力し、
 を押す
- 5 を押し [相手先登録] を選択し、
 を押す
- 6 を押し [相手先(1~4)] または [消去] のいずれかを選択し、
 を押す
 - [相手先(1~4)] を選択した場合は、操作8へ進みます。
 - [消去] を選択した場合は、操作7へ進みます。

- 7 消去対象を [相手先(1~4)] のいずれかを選択し、
 を押す
 - 操作11へ進みます。
- 8 転送先の電話番号を入力し、
 を押す
- 9 発信種別を選択し、
 を押す
 - 「外線」「特番展開」「PBX」「方路指定」から選択します。
 - 「外線」「特番展開」「PBX」を選択した場合は、操作11へ進みます。
 - 「方路指定」を選択した場合は、操作10へ進みます。
- 10 方路指定(00~63) を押し、
 を押す
- 11 を押す

■外線転送を登録する(2)

<転送先を選択する>

相手先電話番号と転送先を結びつけます。

≡ 操作のしかた

- 1 を押す
- 2 を押し [転送設定] を選択し、
 を押す
- 3 を押し [外線転送設定] を選択し、
 を押す
- 4 テナント番号(00~31)を入力し、
 を押す
- 5 を押し [転送先指定] を選択し、
 を押す

- 6 を押し [転送先(1~4)] のいずれかを選択し、
 を押す
 - 外線転送グループA(初期値)のみの場合は、操作8へ進みます。
- 7 を押し、外線転送グループを選択し、
 を押す
 - 「グループA~D」から選択します。
- 8 を押し [相手先(1~4)] のいずれかを選択し、
 を押す
- 9 を押す

<外線転送モードにする>

≡ 操作のしかた

受話器をおいたまま操作します。

- 1 を押す
 - 設定された場合は「ピー」と鳴ります。
 - 外線転送ランプは赤点灯します。

<外線転送モードを解除する>

≡ 操作のしかた

受話器をおいたまま操作します。

- 1 を押す
 - 解除された場合は「ピー」と鳴ります。
 - 外線転送ランプは消灯します。